

《平成29年度》 出張「教育懇談会」まとめ

(小学校適正規模等検討委員会答申に基づく具申内容説明・区懇談会)

1. 開催状況及び参加状況

区 名	開 催 日	時 間	参加者数	会 場	頁
本 郷	H29. 5.18 (木)	19:30～21:08	16	本郷分館	6
内船中	H29. 5.20 (土)	19:00～20:50	9	中組分館	27
徳 間	H29. 5.25 (木)	19:34～20:55	9	徳間多目的センター	44
成 島	H29. 5.28 (日)	19:30～21:04	12	成島公民館	8
内船上	H29. 5.29 (月)	19:00～20:50	12	上組分館	23
天 王	H29. 6. 3 (土)	19:00～20:45	22	矢島多目的センター	37
富士見	H29. 6. 4 (日)	19:30～21:20	22	御屋敷公民館	46
中 野	H29. 6. 6 (火)	19:30～20:42	26	中野公民館	3
南 部	H29. 6. 7 (水)	19:30～20:53	15	南部分館	15
元 宿	H29. 6. 9 (金)	19:30～21:15	11	下宿地域集会施設	52
十 島	H29. 6.10 (土)	19:30～20:50	12	十島公民館	32
大 塩	H29. 6.11 (日)	19:30～21:00	12	大塩公民館	19
柳 島	H29. 6.17 (土)	19:30～21:02	24	柳島公民館	11
陵 草	H29. 6.18 (日)	19:30～21:03	15	陵草ふる里館	63
新 宿	H29. 6.23 (金)	19:30～21:10	18	沢上公民館	57
皐 月	H29. 6.24 (土)	19:30～20:45	22	東根熊多目的センター	41
文 京	H29. 6.25 (日)	19:30～21:00	18	中島公民館	34
合 計	17区		275		

2. 参加者の内訳

【合 計】

区 分	乳幼児の保護者		保育所幼稚園保護者		小学生保護者		一般区民	
275	7		9		35		224	
性 別	男		女					
275	217		58					
年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 以上
275	1	4	21	44	50	129	23	3

【睦合地区】（中野・本郷・成島・柳島・南部・大塩）

区 分	乳幼児の保護者		保育所幼稚園保護者		小学生保護者		一般区民	
105	2		1		13		89	
性 別	男		女					
105	88		17					
年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 以上
105		2	6	17	20	55	4	1

【栄地区】（内船上・内船中・十島）

区 分	乳幼児の保護者		保育所幼稚園保護者		小学生保護者		一般区民	
33					3		30	
性 別	男		女					
33	27		6					
年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 以上
33			1	3	2	21	5	1

【富河地区】（文京・天王・皐月・徳間）

区 分	乳幼児の保護者		保育所幼稚園保護者		小学生保護者		一般区民	
71	1		3		11		56	
性 別	男		女					
71	57		14					
年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 以上
71	1	1	6	13	19	26	4	1

【万沢地区】（富士見・元宿・新宿・陵草）

区 分	乳幼児の保護者		保育所幼稚園保護者		小学生保護者		一般区民	
66	4		5		8		49	
性 別	男		女					
66	45		21					
年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 以上
66		1	8	11	9	27	10	

3. 懇談会開催にあたって留意した事項

- ◆ 各会場とも教育委員会からの説明は40分以内とした。
- ◆ 意見交換の際、次の3点に心掛けていただいた。
 - ① 他者の意見を否定しない。
 - ② 自分の主張を他者に押し付けない。
 - ③ より多くの人が発言できるよう配慮する。

4. 質疑応答及び意見交換の内容

【睦合地区】

中野区 6月6日（火） 第8日目 出席者24人

区民 子供たちから小学校統合についての意見を聞いてきた。1人は「4つの学校を1つにすべきだ。」と答え、もう1人は「富河・万沢は統合し、睦合・栄は人数が減りすぎていないので現状のままで良いのではないか。」と答えた。私は、将来的に1校にするのであれば、初めから1校にしたほうが良いのではないかと思う。少人数の学校は、少人数の良さがあると思うが、小さい時にリーダーになる子は、そのままリーダーになってしまうイメージがあり、クラス替えがあった方が子供たちのためには良いのではないかと思う。

教委 貴重なご意見ありがたい。今日の懇談会で8日目になるが、1つに統合すべきというご意見は、よく出される。クラス替えとか大勢の交わりは、1つにすればできるかとも思うが、他に配慮しなければならないことがある。統合については、子供の数の問題と通学における子供の負担という2つの要素について考える必要がある。コンパクトな町なら可能かもしれないが、広い町のエリアにおいてスクールバスで1ヵ所に集まるとなると、通学の負担が大きくなる。そういったことを考慮し、私たちの構想は、答申にもあるように1中学校・2小学校とした。

区民 1中学校・2小学校の考えは理解できるが、いずれは1小学校にならざるを得ないのではないか。これから先、子供が増える可能性があるならば2小学校で良いが、少なくなるのが目に見えているならば1小学校にしてしまう方が良いと思う。

教委 悲観的な将来推計を強調しすぎたかもしれない。

中野地区はこれから大きく様変わりしていくことが予想される。町内に大きな変化が生ずると、良い方に向かうという可能性はある。私たちの生活圏になっている静岡市・富士宮市・富士市は、山梨県の総人口を上回る110万人の人口を擁する。アクセスさえ向上すれば、南部町に住むという選択もあり、それを導く施策が求められる。1中学校・2小学校構想は、そういった変化に期待を寄せる部分もある。

教委 睦合地区の懇談会では、迎える意識というものを感じ、栄地区では睦合地区への統合を意識した議論になる傾向を感じる。しかし、この具申書では、そのことについて触れていない。過小規模になってしまうと、子供の学習環境として望ましいとは言えなくなってしまうから統合しなければならない、まずはそのことについて皆様のご理解をいただきたい。栄小学校は、まだ過小規模校にはなっていない。10年とは目安であって、その時子供が減っていなければ統合する必要はない。しかし、1学年10人未満のクラスが出てきていることから、予断を許さない状況ではある。

睦合・栄小学校の統合については、その必要性をご理解いただいた上で、今後の児童数の推移を見ながら、学区のことも併せて皆様に相談させていただくことになる。

教委 他地区の質疑内容について、いくつか紹介させていただく。

睦合・栄小学校の統合については、10年も待つ必要が無いというご意見を何度かいただいた。

子供たちがある程度集団として維持できる間は、その学校の取組みを大事にしたいと考え、なし崩し的に統合しない。規則性を持たせ、歯止めをかけながら維持し、それが困難になった時に統合するという意味で「長期（10年）」に分類したことを説明した。富河・万沢小学校の統合は、小規模化が進むことにより近い将来、子供たちにデメリットとなる影響を及ぼす恐れがあるため「中期（5年）」とした。

また、町は万沢地区に若者定住のためのグリーンハイツを建て、宅地分譲も進めているのに、その万沢地区から教育委員会は小学校を無くしてしまおうとしており、矛盾した政策ではないかというご意見があった。

万沢地区に若者が定住することは、これからの万沢地区の強みになる。その若者が定住するために過小規模でない小学校がスクールバスで10分のところにある教育環境を整えるのであって何ら矛盾するところはないと説明した。

もう1つ紹介したいことがある。教育委員会は、子供たちがふるさとに定住し、ふるさとを支える大人になってもらいたいという願いを持っており、「広い視野を持ち ふるさと南部を支える人づくり」をテーマに掲げている。ふるさとの文化や歴史や良さを学校できちんと教えることは、子供たちが南部町を誇りに思い、将来にわたって南部町を大事にしていける人材に育ってくれることにつながるとして、小中学校9年間を通して系統的に「ふるさと教育」に取り組んでいる。

区民 小学校の統合は、具申書のとおりだと思う。1中学校2小学校で当面やっていくということで良いと思う。

話が逸れるが、町長と話をする機会があった時、婚活が話題になった。子供を増やす根幹をなす部分で大事なことだと思う。

教委 婚活についてご意見をいただいたことを企画課に伝える。教育委員会としては、ここで暮らして子育てをしたいと思っていただく教育の在り方を考えていかねばならない。

今、ICT機器を使ったアクティブラーニングという言葉が話題となっており、全国で

導入が進んでいる。ただし、なかなか有効利用に結びつかない学校もあると聞いている。南部町は、今年度タブレットＰＣを導入する。子供の学習が変わっていくと思うのでご注目いただきたい。

区民 統合問題は、小学校ばかりでなく中学校、高校すべてに関わってくると思う。自分がＰＴＡ会員だった時も話題になっていたし、自分の母校である高校は統合に向けて動いている。小学校の統合は、教育委員会が示す形を私も考える。

公民館主事を務めているので、小学校のことばかりでなく、地域もこの先どうやっていかねばならないか考える。

区民 小学校統合は、話が煮詰まっている印象を抱く。この形で進めていくべきだ。それに付随したことを取り上げていたら、進めることができなくなると思う。町が決めた方針で行くなら、皆さんがそれに協力して進んでいくことが良いと思う。

教委 貴重なご意見ありがたい。行政全体で考えていかなければならない少子化対策だ。今日いただいたご意見を町長をはじめ各担当課に報告する。

睦合・栄小学校の統合については、必要性をご理解いただいた上で、具体的な内容について話し合う場を設けていくことになる。

区民 資料は、平成の年号を使い続けて将来推計を紹介しているが、西暦を使うべきだ。

平成３０年度の睦合小学校の全校児童数は、私が栄小学校の佐野分校にいた時と同数だ。その後中学校に進んだ時、生徒数の多さにギャップを感じた経験がある。学校は、小規模より複数学級ある方が能力的に高くなると思う。身延町は３校にまとめた。南部町は２校にしても、数年すると１校にする話が出てくると思う。統合は多大な労力を必要とする。個人的な意見だが、統合するなら１校にすることが、子供たちのためになると思う。

区民 他区の様子を聞いたことがある。その区では、我が子を人数の多い学校へ入学させてくて区から外に出てしてしまった例があるという。そういうことを考えると、人数が少ない学校の統合は致し方ないかなと思う。今日は大勢の方にご参加いただいたが、小学校保護者の参加が少なかったことが残念だ。

皆様のご意見を参考に教育委員会に練っていただくことになるが、やはり子供たちのために最善の方法を目指して取組んでいただきたい。

区民 中野区は、小学生９名、うち１・２年生が４名、睦合小学校までの距離が３．５ｋｍある。登下校にそれぞれ１時間くらいかかり、雨の日などは１・２年生が半べそかいて帰ってくる。家人が１５年間、週に何度か迎えを手伝っている中で聞いた話だ。どうして保護者が声をあげないのかと思う。前はバスがあったと聞いているが、今はない。例えば重いランドセルは月曜日に持って行って金曜日に持ち帰るといった、他の対応もあるかもしれないが、通学バスを現状考えていただく必要があると思う。

教委 ご意見ありがたい。いただいたご意見を参考に次のステップに進みたい。

本郷区 5月18日(木) 第1日目 出席者16人(うち記者1)

区民 各学校の入学式や卒業式に出席する機会が多いが、子供の少なさに驚いている。このように少人数で学校運営が成り立つのか疑問だった。万沢小学校は、3・4年と5・6年が複式学級の対象となるほど小規模化が進んでおり、他の学校も1学年30人を大きく割り込むような規模であることから、5年後・10年後と言わず前倒しで統合すべきと思うがいかがか。

教委 適正規模という観点からすると限界に近いかもしれない。だが、小規模の特徴を生かし充実した教育が実践できている。数だけを見ると大変厳しいが、内容は先生も子供も頑張っているという状況をご理解いただきたい。統合を急ぐべきというご意見については、地域の皆様のご理解を得るために時間をかける必要がある。

区民 教育委員会の制度が変わって数年たつ。教育長は、国や町の財政状況、学校の適正規模等を総合的に見て、統合が必要だと判断したなら、スピード感をもって取組んでいただきたい。

教委 町の財政が厳しいということは十分認識している。しかし、こと統合に関しては、財政上の問題と切り離して子供本位に考えている。また、統合が町財政に及ぼす影響は、歳出削減と同時に歳入における地方交付税措置額の減も考慮する必要がある。

統合を急ぐあまり、地域の皆様のご理解を得ずに進めてしまうことを避けたいがための時間が必要だということをご理解いただきたい。

区民 住民感情を無視して混乱を招くようなことがあってはならないというのは、わかった。だが、この選択が正しいということをもっと主張して、できれば1年でも2年でも早く実現することを願う。

区民 昨年実施した懇談会の結果を見ると、万沢小学校PTAの参加率は非常に高く、睦合小学校PTAの参加率はとても低い。やはり先を見越した関心度の違いなのか。また、万沢地区では実際に何か問題が起きているのか。

教委 少人数でも今ある学校の状態が良いのに、なぜそれを否定するような提案をするのかといった気持ちが伝わってくる。また、地域が衰退する、寂しいといった声もあり、それは当方もよくわかる。

区民 その地域だけでなく全体を見ることが必要だ。必要性を認めたなら積極的に取組むのが行政の仕事だと思う。

教委 そういったご意見は、持ち帰って行政・教育の両部局に伝える。

区民 適正規模とか統廃合は、国の基準に沿ったものだと思う。一律の発想で行うことが正しいのか疑問だ。国・県の基準があるなら、南部町の基準があってもよいのではないのか。人口減少や限界集落の問題に取組ませるのも政府の方針ではないのか。選択と集中とか言いながら、ある程度の拠点を作っていけばいいんじゃないか、といった流れで来ているような気がする。今回の統合についての根拠も、それによるのではないか。そしてその結果がもたらすものは、地域の衰退に拍車をかけること、地域の消滅を早めることだと思う。

郷愁という意味ではなく、地域が力を削がれず維持されるという意味で、コストは総合的に見て判断されるべきだと思う。

教委 まず、「選択と集中」が学校統合にあてはめられているのでは、とのご意見についてお答えする。この懇談会は、平成27年に立ち上げられた小学校適正規模等検討委員会の答申に基づいて開催しているものだが、この答申は住民の意向調査結果と現実の児童数という客観的な事実に基づいた、南部町独自のものだ。

次に地域の衰退を招くことのご指摘だが、教育分野については、地域の代表者の方にご参加いただいて学校経営や学校運営に関するご意見をいただき、地域の声を学校に反映させたり学校が地域に出て行ったりする「コミュニティ・スクール」という仕組みづくりを南部中学校で取組んでいる。これを小学校でも作って、万沢地域の方々にも積極的に参加いただける流れを作って、少しでも万沢小学校がなくなるデメリットを感じさせないよう努める方針だ。

区民 児童数が少ないということは、人的なものも含め地域の様々な資源から受ける児童一人当たりの恩恵は大きくなるので、ある意味でメリットと捉えることができる。先程のコミュニティ・スクールの話においても、どうやったらもっと簡単に関われるかが大事だと思う。現役を退いた人にとって、子供との関わりは一つの社会参画になるので、その人たちの生きがいも含めて気軽にできると良い。

区民 意向調査の結果を踏まえ、前向きにことを進めるべきだと思う。

区民 富沢地区では、保育所が統合され、南部地区でも保育所の統合が取りざたされている。富沢地区は、保育所では富河・万沢の子供が一緒になり、小学校は別々になるといった状況であり、南部地区でも同様のケースになるかもしれない。これは、子供の気持ちを考えると不自然だと受け止められないか。それならば、保育所と小学校の統合は同時期にしたほうが良いのではないか。

教委 保育所と学校教育は統合の理由が異なる。保育所は、より良いサービスを提供するために統合するものであり、小学校は望ましい教育環境を整えるためである。誤解が生じないよう関係課で話し合い、ご理解いただくよう努める。

睦合・栄小学校については、複式学級が生じていないので「長期」すなわち概ね10年後を目途に結論を出す必要がある状況であることご理解いただきたい。

区民 どちらの学校に通うかといったときに事態が紛糾するのだろう。メリット・デメリットが比較できる資料があるが、子供本位で考えたらおのずと結論が出ると思う。ただ、10年後というのが妥当かは疑問だ。

区民 企業人として考えるなら甘い。教育のことだから大事に考えたいが、理解を得ることにあまり時間をかけるべきではない。

教委 地域の皆様のご理解をいただくことに努めなければならないと考えている。

区民 そんなことを言っていたらできない。100%に近い合意を得ようなどと言っていたら、とてもできない。

教委 できる限り努力するということだ。

区民 万沢地区の小学生の保護者の意向は、早く統合してほしいということを聞いている。統合しないなら富河小学校に通わせたいと言う親もいた。教育委員会にかけあったが通学区があるから、それはできないという話だった。そんな姿勢で教育されたのではかなわない。少なくともクラス内で競い合うことができる程度の人数がいなければ、社会に出て通用する人づくりはできない。

教委 万沢小の保護者の方々の気持ちは揺れているようで、意向調査時に統合賛成が多かった一方、違う場面では逆の結果となったこともある。

区民 それでは意向調査は信用できないということになる。

教委 保護者は、いろいろな考えをお持ちだ。ひとくくりでは捉えられない。

区民 峡南地区の高校の統合問題では、県は方針を貫いた。様々な要望を伝えたが、ほとんど聞き入れてはもらえなかった。やるとしたら、そのくらい強くやっていただきたい。

区民 富沢地区は保育所が富河になったから、小学校も富河なのかと受け止めてしまう。南部地区も後追いでそのようにならないよう、関係課でしっかり協議していただきたい。

教委 そういったことは無い。総合的に判断して決定していくことになる。

区民 子供たち第一に考えていただきたい。

教委 多くの区を回ってご意見をいただいていく。そういった蓄積のなかで分析させていただく。南部地区の具体案は、まだ示されておらず、これから詰めていくことになる。長い取組みになるがご協力たまわりたい。

成島区 5月28日（日） 第4日目 出席者12人

区民 人口減少や少子化は、就労場所が無いことが最大の原因だ。就労先が無いから若い人が出て行ってしまっていて人口が減る悪循環となっている。地元で就労できる企業の誘致が人口減少問題対策となる。町で進める企業誘致用地にたくさんの企業が入って、町が活性化し、人口増につながってほしい。

教委 平成26年の第2次南部町総合計画策定時アンケートでは、働く場所が無いことを課題と捉える回答が非常に多かった。国道の雨量規制や、適地とされても農地であるがゆえに転用が困難といったことで企業誘致が進まなかったが、中野地内で企業誘致が始まった。また、以前、町長が静岡市や富士宮市、富士市に近い利点を生かし、アクセスを向上させて町内居住を選択していただく努力が必要だと述べておられた。

区民 万沢は静岡や富士に近い。そういったところに宅地や住宅を造って若い人を増やす。若い人が入ってこなければ人口は減るばかりだ。

ここに住む高齢者は、働けなくなったら子供たちの世話にはなれず、施設に入るようになるだろう。成島区は、10年もすれば無住になる家何十軒も出てくると予想しており、区も100軒を割り込んでしまうだろう。

学校の位置が今よりも遠くなると、徒歩通学が大変になるので今の位置での統合を希

望する。

区民 こういった状況は、全国で起こっている。南部町から転出するのを減らすには、よそと違った特色あることをしなければならない。よそに負けないことを考える必要がある。同じことをやっていたら勝てない。

区民 静岡県駿東郡清水町は、保育園は無料、医療費も無料だから人口が増え、保育園が足りない状況だ。立地条件が良いため企業が多いというのも要因になっている。南部町に真似しろと言っても無理だが、特殊な、思い切った子育て支援を考えてはどうか。

教委 財源問題やクリアしなければならない課題がある。本町では小中学校に3人以上通っていれば3人目以降は給食費が無料になる、小学校入学祝い金を2万円給付するといった支援をしている。若者定住策は、様々な分野で取り組んでいる。

先程のご意見の小学校の位置については、睦合・栄小学校のBグループは10年後を目途に統合すべきとだけ述べられており、位置等についての記述は無い。よって今の段階で具体的な提示はできない。

区民 この先の子供の出生数は予測しがたい。10年後には、子供が減りすぎて3つが一緒にならなければならないといった状況に追い込まれているかもしれない。

教委 子供の数と学校の数とは当然関連する。4校を1校にというご意見もあるが、学区が広範になると子供の負担が増えるので、教育委員会にはそのような考えは無い。

区民 町内には中高年の独身者が非常に多い。少子化の原因の1つになっているかもしれない。若い人の結婚について取り組んでいく必要があるのではないか。婚活イベントとかやっているのか。成果はどうか。

教委 不定期だが開催しており、結婚に至った例があることだけお知らせできる。

区民 成島区の子供は、今の通学距離以上になると徒歩通学が難しくなる。今の学校での統合を望んでいる。睦合地区の人は皆同じ気持ちではないだろうか。

教委 学校の位置は、今後の大きな課題となることが予想される。

区民 内船駅周辺からなら睦合小学校に歩いて通える距離だと思う。

教委 教育委員会は、子供の学習環境整備という視点で統合を考えているが、地域によっては、地域拠点という位置づけも加味しているので、学校がなくなることの影響を重視している。

区民 現在は徒歩通学なので、足腰が鍛えられる。バス通学になると足腰が弱くなるだろう。

教委 昨年のPTA懇談会でもバス通学による体力の低下を懸念する声が出た。また、災害時の迎えが困難になるといった声もあった。

区民 この辺も道路が不通になり、孤立する可能性がある。

教委 各学校では、そういった状況を想定し、食料や水の備蓄をしている。

区民 少子化が深刻な早川町は、どのような施策をとっているのか。

教委 早川町は1中学校・2小学校としている。特に早川北小学校の児童は、半数以上が移住してきた家庭の児童だそう。そして義務教育にかかる費用は、すべて町が負担してい

る。

区民 我が家には小中高生がいる。今日は高校生を連れてきたかった。なぜなら近い将来、親になる可能性があるからだ。どこに住み、どこの学校に子供を通わせたいかといったことを現実的に考えさせたい年代だ。

こういった懇談会に何度か出席したが、睦合地区は4小学校の中で一番規模が大きいいため関心が低いのか、出席者が少ないと感じた。特に若い世代は当事者意識が感じられない。保護者以外に、若い世代、中高生にも関心を持ってもらいたい。

区民 保育所や幼稚園の親に来てもらいたい。我々高齢者は、昔の記憶だけで意見を述べており、参考にならないのではないか。

教委 中高生にも関心を持ってもらいたいというご意見は、新たな発想で参考になる。

保育所・幼稚園の保護者が当事者になってくるので、昨年、保育所・幼稚園で説明会を開いたが、短い時間だったので今日のような機会にご参加いただき、率直なご意見をいただきましたかった。

区民 5年ほど前に息子が、ここに2世帯住宅を構えたいと言ってくれた。そのことについて妻と話し合った時、この先成島はさびれてしまい商店もなくなるだろう、今のような車社会で子供たちが年を取り自動車に乗れなくなったら大きな不便を強いられることになると言われた。考えてみれば自分も何年か先に歩けなくなったらどうなるのか不安だ。結局、息子は富士宮市に住宅を建てた。親とすればここで一緒に暮らしてほしい。だが、子供の将来を考えたら、成島を選ばない。

万沢の知人の話では、ハックドラッグが無くなり、万沢から商店が無くなってしまふことで、万沢の人たちの悩みは深刻だ。小さくてもよいから地域に店がある、歩いていける店があることが大事だと思う。人を呼び込むには、企業誘致もだが、身近な店が必要だ。私は、高齢になって自動車を運転できなくなったときのことを考える。バスは2～3時間に1本で利用しにくいし、タクシーだって人口が減れば無くなるかもしれない。町が生活用品を届けてくれるだろうか、不可能だろう。

教委 人口減少が惹き起こす事象であり、これが負の連鎖となる。行政は、住民生活の不便を解決する使命がある。

区民 人口減少問題を解決することが子供を増やすことにつながる。

教委 この町に住むことを選択していただく町づくりに取り組んでいる。

区民 教育委員会としては、Bグループにおいてどちらの小学校を使うつもりか。

教委 具体案づくりには、委員会のようなものを立ち上げて検討していただくことになるだろう。そこで方向性が示されることになる。

区民 2つの小学校の建物の堅牢さはどうか。

教委 両校とも耐震基準は満たしている。ただ、睦合小学校は、平成に入ってから大規模改修しているので新しく見える。

区民 バス送迎になったときに、栄小学校にそのスペースが確保できるか問題だ。逆に睦合

小学校は余裕がある。

教委 ご意見としてうかがう。

区民 小中一貫教育を採用して中学校と一緒にするという考え方もある。

教委 最近の小中一貫というのは、義務教育学校という名称で、最先端の形の学校だと小中が一緒の校舎で小学1～4年生、小学5～中学1年、中学2～3年に区切り、従来の小中学校のイメージとは全く違う学校を作ることができよう法律が改まった。各県で増えつつある。小さい町では、統合をきっかけにそういった学校にする県もある。ただし、それについては、小中の先生が一緒になるので教職免許や部活動指導のことなど課題が多い。

南部町においては、1校とするにはエリアが広いこと、小中一貫校の必要性についての論議がないことなどから、1中学校・2小学校という形が子供たちに負担がかからない体制だと考えている。

区民 こちらの住民としては、睦合小学校を使うことを希望する。

区民 安全性を考えたら睦合小学校の方が安全と言える。

教委 Bグループの統合の際は、学区の見直しもすることになっている。学区の見直しは、対象となる区域の方々にとって大きな問題となるかもしれない。

区民 そういった問題については視野が狭くなりがちだ。大局的に物事を考える姿勢を皆に求め、良い方向に進むことを望む。

教委 お疲れのところお集まりいただき、貴重なご意見をいただいた。

各区を回り、いただいたご意見を分析し、次のステップへの判断をして、新たな課題に着手する。

区民 昨年は、4地区の会議に出席した。万沢地区は、切実な問題として、椅子が足りなくなるほど多くの人が詰めかけた。中には目頭が熱くなる意見もあった。せっかくの機会なので、より多くの保護者の参加があればよかった。

問題のポイントは過小規模化だが、睦合小学校にも起こりうることだ。全国で人口が増えている町は、親がこの町で子育てをしたい、共に成長したいと思うような町だ。南部町も諸々の課題を克服して頑張ってもらいたい。

柳島区 6月17日（土） 第13日目 出席者24人

区民 各学校の児童一人あたりにかかる経費はいくらだ。

教委 一人あたりの経費は計算していない。

区民 学校にかかる経費について計算がなされ、統合した場合に財政的負担が軽減されるというのであれば、より良い教育環境整備に回すことができるのではないかと。そういった意味では、統合に賛成できる。

教委 貴重なご意見ありがたい。統合により経費が削減されるかというと、スクールバスその他の経費増があるので、それほど削減されるわけではない。

教育委員会は、子供の数が減りすぎると人間関係が濃密になりすぎて本来獲得しなけ

ればならない能力の獲得に適さない環境になってしまうという認識をもち、統合の計画を進めている。多様な人間関係を学ぶことができる環境は、ある程度の人数を揃える必要があることをご理解いただきたい。

区民 少人数の問題は、小規模化が著しい万沢小学校で顕著に表れているのか。

教委 現状は先生も子供たちも頑張っている。先日の町内小学校の陸上競技会でも男子リレーで優勝した。

過去、小学校時代になかった人間関係的な問題が、中学生になってから顕在化したことがあった。遡ると小学校時代の固定した人間関係の中で克服できなかった問題が、思春期でもある中学生になって顕在化した。

国が定める複式学級の基準16人、県が定める12人という数字には裏付けがあると考える。その人数を下回ると先に述べたような人間関係を築きにくくなる数字なのだと捉えている。

区民 検討委員会による慎重審議を経て答申が出されたと思う。それに基づいた具申書が町長に提出された。この懇談会は、具申書の内容について町民の理解を得るためのものか、それとも出された意見により内容が変わりうるものなのか。そこをはっきりすべきで、5年後・10年後の計画が伸びるようなことがあると混沌とした事態を招くことになる。

教委 ご指摘感謝する。教育委員会としては、この方針で進めたい、皆様にはこの内容をご理解いただきたいという意味での会合だ。当然反対される方もいる。そういう方にもご理解をいただくための懇談会だ。5年後・10年後を「目途」としており、事態が切迫すれば早める可能性はあるが、遅らせる考えはない。

区民 具申書には、「消極的な理由からではなく、より前向きに」という文言がある。反対する人には、是非この部分をよく理解していただいてもらいたい。身延町では来年3つの小学校への統合が成る。かなりの反対があったと聞くが頑張ったようだ。行政はある程度指導的な役割を果たさないと、こういうことはいつまでもできない。

教委 努力する。

区民 適正規模について、1校にすると適正規模になるか。

教委 なる。

区民 万沢小学校の児童数が減って喫緊にということは妥当だと思う。

まず富河・万沢小学校が統合し、後に睦合・栄小学校の統合を考える、ということは先に統合した学校と睦合・栄小学校を1つにまとめるという考え方も成り立つと思う。1校にすれば適正規模になるわけだから、そのようにしたらどうかと思う。

万沢の方は、小学校がなくなり保育所もなくなるということで何もなくなってしまうことから反対されるということを聞く。富河の保育所を万沢に持っていったらどうか。南部地区についても保育所は栄に持っていく。そうすれば学校・保育所どちらかが全地区にある状態になる。それが私が思うところの適正配置だ。地域から施設が無くなってしまうば反発は大だと思う。ただ単に富沢地区に1校、南部地区に1校というのが適正配置なの

か。4つの地区に分かれているのであれば、その地区ごとに配置するのが適正配置になるのではないかと私は思う。

教委 保育所のことを交えての議論となると担当部署が異なるので混乱が生じる。

区民 それはわかるので町長にそれくらい（保育所の設置場所について）は伝えていただきたい。とにかく万沢の方々の気持ちをまとめたいというのが本心だと思う。万沢の方々が反対していると聞いており、万沢の方々が納得する方法の一つとして町長に相談してみるのはいかがかと思う。

教委 1校にしても適正規模ではないかというご意見、他区からもいただいた。教育委員会としては、1中学校と富河・万沢地区に1小学校、睦合・栄地区に1小学校という方針だ。今の南部町は2つの町が合併してできた町であり、広いエリアだ。統合する2つの小学校は広い学区となり、さらにそれを1つにするとすると、通学にかかる負担が大きくなってしまう。スクールバス通学ならそのようなことはないと考えられがちだが、特に低学年児童にとってはスクールバスでも負担が大きすぎる。通学の負担を減らして、その分充実した学校生活ができるよう配慮することが求められる。

区民 負担というのがどういった負担なのかよくわからない。今の睦合小学校で言うと中野の奥とか成島の奥から通うのが一番遠いと思うが、負担とは時間のことか。

教委 時間と体力だ。

区民 もし、1校とした場合の学校の位置を富河小学校とした場合、中野や成島の子供のスクールバスの所要時間は10分程度だろう。歩いて1時間近くかかるのと比較して、どちらが負担が大きいというのか。

教委 具体的に計っていないが、実際にスクールバスを運行している学校や中学生でも負担を感じているという話は聞いている。学校をどこに配置するかによっても違ってくる。

区民 私の考えは富河だ。となれば、万沢から約10分、こちらからも約10分程度ではないかと思う。

教委 具体的に疲労の度合いをどう表すか難しい問題だが、私たちとしては少しでも負担を小さくしたいという考えだ。この広いエリアの中では2小学校という考えを持っている。

区民 今後、子供は減り続け、2つの小学校が過小規模になったらどうするのか。

教委 シミュレーションでは、過小規模校にはならない。

区民 先々の話だ。

教委 2035年には613人と推計しており、15で割ると1学年あたり40人の計算になる。希望的な数字かもしれないが、公的機関が出している数字だ。

区民 かなり高いハードルだと聞いたので、非常に厳しいのだろうというのが率直な感想だ。将来を考えると、またこのような会議をやらなければならない可能性がある。せっかく苦労されているのだから、できるものなら1校にしてしまった方が良いのではないかと思う。

教委 貴重なご意見としてうかがう。

小学校は明治から続く地域の拠りどころでもある。強引に1校にすることにより、行政と住民の間に壁を作ってしまうリスクは避けねばならない。これからの地域行政は、行政に任せておけばよい時代ではなくなり、協働関係でなければ立ち行かなくなる。

1校にすることは非常に合理的な考えと言えるが、各学校が頑張っている良さも大事にしないといけない。

区民 その良さも10年後には統合という結果になる。だからその10年後を期に1校にしたらどうかと言っている。

教委 ここで結論を出すことはできない。

4つの地区に施設を配置するという考えは良いと思うが、それぞれの事情を勘案する必要があり、どうしても人口が少ない地区から施設を引き上げることになってしまい、万沢の皆様からは切実なご意見をいただく。

一方で万沢地区に住宅や宅地を用意して若者定住政策を展開しており、「矛盾している」といったご意見をいただく。これは、移住してこられる方々に過小規模校でない学校をスクールバスで10分のところに用意し、子供の学習環境の不安を解消するためだと説明させていただいている。

いただいたご意見は町長に報告する。

区民 柳島も子供が減ってしまったが、少ない子供を地域で育てようと言ったことがある。

10年後の統合では遅すぎると思う。

統合に関し、子供の意見を聞いたか。聞いていないと思う。どの社会も弱いものいじめの社会だ。弱い立場の者がいじめられて反発して強くなったらどうであろうか。そういう子を世に出して、社会人として一流の日本人を出すことが教育の場であり大人の責任だと思う。

教委 考えさせられるご意見だ。

まず、統合を早くするべきだとのご意見にお答えする。南部町の小中学校は、それぞれ特色ある学校づくりをしていただいております、誇りに思っている。私たちは、その小学校在頑張れる間は頑張ってお存続してもらいたいと思っている。ただ、どうしても数が少なくなってきたときに生じるリスクを心配して5年後・10年後の手立てを今から考えようと検討し、このような形で会議を催した。ご理解いただきたい。

子供の意見は特に聞いていない。たくましきという点は、確かに感じにくくなっているかもしれないが、今の子供なりにとても頑張っている。4小学校とも人数が少ないので、切磋琢磨する、大勢の中で多様な意見に触れる機会として、同学年の児童が一堂に会して授業を受ける「N授業」を実施している。そこで見せる子供の表情や感想は、普段体験できない交流に新たな発見を見出すものだった。どういう形か考えなければならないが、子供の反応や意見を大事にしろというご意見、ありがたく頂戴する。

区民 全国で子供が減り続けている中で、統合ではなくメディアを使った学習といったこ

とは考えられないか。

教委 つい先日、山梨日日新聞で甲州市の取組みが紹介された。早速、様子を聞いてみた。

今の技術では難しい問題が横たわっていると実感した。小規模校のデメリット解消のためにＩＣＴ機器を導入し、共同・双方向の授業を展開する取組みだが、そのための準備が大きな負担になり、実際には相手の息遣いが伝わらないもどかしさもあるとのことだった。南部町では今年度、小中学校にタブレットＰＣを導入してアクティブラーニングを目指していくが、ＩＣＴが小規模校のデメリット解消手段になりえていない。

区民 教育施設の更新が全国的な問題になってくる時期を迎えていると思う。町には大きな負担になる。そういったことも踏まえて統合問題に取り組んでほしい。

教委 将来にわたって考える必要があると認識している。

教委 大勢の方々にお集まりいただき、真剣な議論感謝する。ご指摘いただいたように、この方針がぶれることはない。この方針をご理解いただくために各区を回らせていただいている。いただいたご意見を精査し、次のステップに進む準備をする。貴重なご意見ありがたい。

南部区 6月7日（水） 第9日目 出席者15人

区民 もっと具体的な内容になっているかと思った。

教委 富河・万沢小学校については、富河小学校を使って平成33年を目途に統合することが望ましいとし、睦合・栄小学校については、児童減少が見込まれるので平成38年度を目途に統合する方向で考えているということで、校舎や学区等について具体的には出ていない。ただ、各区を回ってご理解いただけたと判断したら、具体的な検討に入らせていただき、具体案が整えば、各地区を再度回って説明させていただくことになると思う。睦合・栄小学校については、方向性をご理解いただきたい。

区民 5年後、10年後とした理由は何だ。

教委 子供たちの減り具合や教育上の影響を考えて、短期・中期・長期の括りを作った。少人数によるデメリットの部分が大きく緊急に対応すべき場合を短期、5年間で事態が切迫してくるだろうと予測する場合を中期、10年後には少人数の問題が顕在化してくるであろうと予測する場合を長期とし、富河・万沢小学校については中期、睦合・栄小学校については長期とした。

区民 栄小学校の児童数減が著しくなっているようだ。もっとスピード感をもってできないか。

教委 他区からもそういったご意見をいただいた。教育委員会としては、現状で維持できている学校については、学校の取組みを大事にしたい。限界のラインは過小規模化になるかと思う。栄小学校は、まだその状況ではないので学校が頑張っている姿は大事にしたい。貴重なご意見としていただく。

区民 現状を維持するということも大事だ。

区民 平成38年の児童数の予想はないのか。

教委 該当する年齢の子供の実数で平成33年度までの見込みを作っており、その先の各年の推計はしていない。

区民 10年後の予測が載っていれば、もっと真剣に考えられると思う。

子供が減っていくことに関して、教育自体を変えることは可能か。今までの教育方法を変えずに続けるのか、子供たちのことを考えて教育方針を変えていくのか。私たちの時代は、教わる側と教える側がはっきり区別され、先生は偉い人だった。今は、先生とは形ばかりで規律がない、それがおかしいと思う。何年か前にPTA役員をやらせてもらったが、それを強く感じた。運動会も競い合うものなのに競い合わない、唯一リレーだけが盛り上がる。それもおかしい。そういうことを踏まえて教育方針を語っておられるのか。もし今の教育方針を変えることができれば、子供たちは伸びるかもしれない。

もう一つ。今、問題になっているのはいじめだ。いじめについて、教育委員会はどこまで把握しているか。自殺にまで追い込まれる事件が起きているが、南部町はどうか。皆無ではないはずだ。学校、教育委員会の状況を聞きたい。

私たちにできる協力はしたいが、学校の中まで入ることはできない。

教委 教育に対する姿勢は、いつの時代も基本は変わらないと思う。先生と子供たちの関係も、基本的には変わっていない。私たちの頃の教室風景、授業風景と比べると確かに変わっているように見えるかもしれないが、学力をつけさせる、豊かな心・道徳心にあふれる子供を育てるという点は明治の初めから変わっていないような気がする。ただ、厳しい両親といった家庭の環境や、厳しい社会環境が変わってきているように、学校の雰囲気も変わってきていることはご指摘のとおりだ。健全な競争は大事だが、経験上、学校が小規模になってしまうと切磋琢磨という環境が作りにくくなる。ある程度の人数を揃えた教育が、これからも必要だと思う。あまりにも小規模になってしまうと、健全な競争心は育ちにくい。

いじめについては、町内の小中学校で無いわけではない。学校現場も教育委員会も、誰が今どういう状況か掴んでいる。学校がそれに気付かなかつたり、見て見ぬふりをするのではないと私は捉えている。まずは担任や学年主任がいつも子供たちをよく見ている。次に無記名で子供たちからいじめに関するアンケートを中学校は学期に2度、小学校は1度実施している。それによって教師が気付かなかった子供たちの関係などを、教師が読み取れる場合もある。教育委員会には逐次報告がなされ、対応が検討される。

区民 過小規模校とそうでない学校と間で、学力・体力・生きる力などについて数値的に比較することはできないか。

教委 数値で見ると、過小規模校は学力、運動面は高くなる傾向だ。規模が小さいが故に、子供たち個々への指導が行きわたるし、子供たちも頑張る。だが、私たちが一番問題にしたいのは、学校生活は学力・体力だけでなく、人間同士の関係をうまく築く能力、これからの成長過程で諸問題を自ら解決できる能力を身に付けることだ。3人とか4人のクラ

スでは、それがなかなか難しい。そこがデメリットとなる。そのために私たちは、ある程度の人数を揃えることが必要だと考える。

区民 グラフを見ると、子供は減る一方で増える見込みはない。おそらく南部町だけでなく全国的な傾向だと思う。説明では、4小学校を2小学校に統合するとのことだが、1つにしない理由は何だ。中学校は1つだし、小学生数を見ると1つに納まる人数だ。将来を見据えた時、2つを再度1つに統合しなければならなくなる場合を考えて、思い切って1つにすれば良いのではないか。

教委 おっしゃることはよくわかる。先程から過小規模とか過小規模校になるのは何人からといった、人数の面から説明してきた部分があるが、あと一つ視点がある。それは、最小限の労力で登校し、学校で元気に勉強や運動に取り組むことができるよう、通学の負担軽減を考慮することだ。

区民 バスを使うということだが、それならばあまり関係ないのではないか。

教委 ところが、低学年ではバスでも体力的負担がかかることが、統計や識者の話に出てくる。南部町はエリアとしては広く、1箇所に集めるということは、通学上の負担が大きくなる。教育委員会としては、1中学校・2小学校を考えている。

区民 小中一貫教育という言葉を目にするが、南部町ではそういったことを将来的に視野に入れているか。

教委 私たちは、義務教育は9か年、小学校・中学校だと思っているが、法律が改正され「義務教育学校」というものが創れるようになった。山梨県にはまだないが、全国的には出始めている。これはどういうものかと言うと、小中一貫で9年間を一まとめにし、4年生までを一括り、5・6・中1を一括り、中2・中3を一括りにして、3つの段階に分けて教育する学校だ。これはいくつかの問題を抱えている。まず、教員は免許制であるため、中学校の免許を持った先生が小学生にどうやって教えるのかといった問題。次に部活動をどうするのかといった問題。これらクリアしていかなければならないが、山梨県ではまだ手を付けていない。南部町でも、もし1中学校・1小学校となれば小中一貫校という可能性は否定しきれないが、現状では考えていない。

区民 南部中学校に全部持ってきてしまえば、グラウンドは使い勝手が悪いが、手間がかからない。

区民 大人の考え方だけで、それを決めるのはちょっと問題があると思う。

区民 1小学校という意見は、小学生保護者から出ないか。

教委 子育てを終えられた方から多く出される傾向がある。

実は、保護者の参加はあまり多くない。これから再度、小学校に赴いて説明する予定だが、1小学校という意見が出ることは少ないと予想している。

区民 保護者から、それなりの意見は出るのか。

区民 保護者とすれば、歩いて行ける距離にあった方が良いという意見が多いだろう。

区民 資料を見ると、万沢地区の意見として賛否両論があるが、具申内容に理解が強いと捉

えて良いのか。

教委 説明については、ご理解いただいていると思うが反対論もある。

万沢地区にグリーンハイツを建て、若者定住のための分譲をしている。人口を増やそうとしている町の政策と、そこから小学校を移してしまおうとしている教育委員会のやり方は矛盾しているのではないか、というご意見をよくいただく。そういったご意見に対して教育委員会は、次のような説明をしている。若者が定住することは万沢にとって強みになる。しかし、子供たちが通う小学校が過小規模校では不安を感じるであろう。その不安を解消するために、自動車で10分のところに過小規模が解消された小学校を用意するのだ。よって若者の定住策と小学校を統合して過小規模を解消することは矛盾しないと。

区民 つい最近、分譲地購入予定者及びグリーンハイツ入居者と地元との懇談会を催した。懇談会では、どの区、どの組に入るかをメインテーマにした。当初、グリーンハイツ入居の条件として、地区の行事へ参加する必要はなかったが、入居して数年経った今、逆に地区に入っていきたいという意見が出た。地元地区の方々との交流の深まりで、そういった空気が広まっていったと聞いた。ただ、区のこと組のことの詳細を知らないがため、不安が若干残っているとのことで、それは地元の人たちが少しずつ伝えていくこととし、和を持てた。

その時にやはり小学校統合が話題になり、スクールバスの安全確保への不安の声が出たが、いずれ慣れていくんだという話になった。教育委員会の説明とのつながりを感じた。

区民 万沢地区から中学校も小学校も無くなってしまうということは、地区の人にとってみれば不安でもあり、不満でもあると思う。

昔、睦合村役場が南部にあったが柳島に移り、本当は本郷に持っていきたかったという話がある。その時に各地区から様々なクレームがついた。いつの時代でも、そこにあった施設を他所に移すということには不満が出る。

教委 特に見守り隊などを熱心にされている方などは、子供の声が聞こえなくなることは、地域が寂しくなる、急激に地域の活気が衰えてしまうといった危機感で発言されることが多い。

区民 叱られてしまうかもしれないが、万沢地区の現状は子供が少なく、声もあまり聞こえないのではないかな。

区民 地元の人にとっては、そうではないはずだ。

教委 万沢小学校には、地域と非常に密度の濃いつながりがある。

南部中学校では、学校運営協議会という組織をつくり、地域の方々が学校経営や学校運営に参加できるシステムを構築しつつある。各小学校にもこのシステムを導入して、万沢地区の方々にもご参加いただき、新たな学校とのつながりを深めていただきたいと考えている。

区民 流れとしては、栄小学校の子供が睦合小学校に通うようになるのか。中学校も小学校もこちらというのは、住民意識として抵抗があるのか。

教委 そのことについて、今は何も提案していない。具体的になっていけば、様々な反応が出てくると思う。学区も見直すこととしている。

区民 小学校が1つになる時は、富河地区になるのではないかと思う。

教委 大変貴重なご意見ありがたい。いただいたご意見をストックし、分析し、判断材料とさせていただきます。

開かれた教育委員会として、記録を公開し、ご意見ご質問はいつでも受け付け、ご理解いただくよう努める。

大塩区 6月11日（日） 第12日目 出席者12人

区民 具申書に「住民の意向の沿った方策を心がける」とあり、意識調査を実施している。

今後、こういった説明会を終えた後に意識調査を実施するのか。また、実施するのであれば、どういった生かし方をするのか。

教委 何をもって理解されたと判断するのかというご質問を他の会場でいただいた。皆様から直にご回答いただく意向調査と裏付けとなる数字が必要になると考えている。各区を回らせていただいて、どれだけご理解いただいたという反応も見させていただきながら手続きを進めていきたい。

区民 今年度の睦合小学校入学生15人がどの区からということはあるか。

教委 資料を持参していないのでお答えできない。申し訳ない。

区民 区内の様々な行事で、子供が少ないと感じる。保護者を除き、区民のほとんどが具体的な人数を知らないと思う。減っていることは感覚としてあるが、実数を知らないのが危機感を持たないのかもしれない。もうちょっと住民に細かな数字で周知することも必要かなと思う。

教委 非常に役立つご指摘、感謝する。確かに全体の説明にとどまっており具体像が想像しにくく、今後分析する必要があると感じた。

区民 富河・万沢小学校については、具体案が示されている。睦合・栄小学校は「長期」に分類されているが、人数的な線引きで長期的となっているのか。町として全体をという考えは無いのか。

教委 栄小学校の児童数減が著しいが、まだ過小規模校にはなっていない。しかし、今後も減り続けることが予想され、10年後くらいには過小規模校になる恐れがあるので長期的に分類した。よって具体案は示されていない。動き出す時期を迎えたら、検討する機関を設けて、第三者の意見も聞きながら細かな部分を詰めて条件を設定していくことになる。万沢小学校は過小規模校となってしまうので中期的に分類して統合を進める内容になっている。

区民 具申書には「適正配置」という言葉が表題に使われている。適正配置とは一体何だろうかと思ったが、Aグループ・Bグループという分け方がそれにあたるといことか。

教委 適正規模、適正配置という2つの意味を合わせて考えている。規模については、過小

規模にならないよう考えた場合、統合すべきであるという結論に至る。統合する場合には、どこに配置するかという場所の問題になる。Aグループについては、富河小学校を使うという案を示しているが、Bグループについては、これから検討していくことになる。

区民 早川町では教育費が無料だと聞いた。さらに、奈良田の古民家を買って子供連れの家族が移住したということだ。それに対して南部町は、どんな教育支援があるのか。また、町内にも古民家があるが、買って改修して提供するといったことをしているのか。孫が生まれるが、県外に出ている。できれば戻ってきてもらいたい。

教委 早川町は子供の数が非常に少なく、義務教育に関する保護者負担をゼロにしている。南部町の支援策は、給食費や入学祝い金などについて実施しており、子育て支援に重点を置く方向に転換しつつある。ただし、子育て支援の予算を増やすということは、他の部分を圧縮しなければならない。入学祝い金3千円を2万円に増額した際は、敬老祝い金を一部圧縮した。

移住政策については、空き家バンク制度を設けて登録を呼び掛けている。ここで最も重要なのは、受け入れる側の準備だ。移住してくる人には、地域コミュニティの一員となることを期待する。そういった意思を持たない人が移住してきても、地元と不和になり、お互いが不幸になる結果を招いてしまうことがある。

南部町は、静岡・富士宮市と隣接しており、富士市も生活圏だ。この3市の人口を合わせると110万人となり、山梨県の総人口をはるかに上回る。中身が優れていれば、南部町に住むことを選択していただくことが可能だと思う。そのためには、まずアクセスの向上が必要となり、町長は国道469号線整備や新富士川橋ボトルネック解消について静岡県知事をはじめ関係者に働きかけている。

教委 早川町の早川北小学校は、地元の子供より移住してきた家族の子供の方が多いと聞いている。義務教育にかかる経費はすべて町が負担している。

この具申書には、移住に伴う児童数増という要素は入っていない。

区民 この短期・中期・長期の取組みについて、詳細なフロー的なものが開示されるのか。今何をしている、今後何をする、最終的にあるべき姿に持っていくという構図が出来上がっていくのか。

今は5年後、10年後に2校とすることが予定されているが、子供の数が減り続けていく中で最終的に1校となるのか、2校を存続させるのかといったことだ。

教委 他地区でもそういったご質問をいただくが、1中学校・2小学校構想だ。Aグループについては5年後を目途としているが、Bグループについては方向性を示している。この方向性にご理解をいただいたと判断したら、具体案について検討に入る。

1小学校としたらどうかというご意見もある。しかし、旧南部町と旧富沢町が合併してできた町なのでエリアが広く、特に低学年児童の通学負担が大きくなる。そこを考慮した2小学校が基本的な考えだ。

区民 先程、国道469号線、新々富士川橋の話が出たが、中部横断自動車道も完成間近だ。

さらに町ではグリーンハイツ富士見を建て宅地を分譲しており、人口が増える要素がある。そんな状況下での統合は尚早ではないか。

教委 町は万沢地区に若者定住住宅を建設し宅地分譲もしているが、その若者が定住しようとしている目と鼻の先の学校を富河に持っていこうとしている、教育委員会がやろうとしていることは、町の施策と矛盾するではないか、といったご指摘を受ける。私たちは次のように答えている。まず、若者定住が進んでも残念ながら万沢小学校の過小規模校が解消されるほどの効果は規模的にみて無理だ。そこで教育委員会は、若者が定住する際、過小規模でない小学校に行くことができる環境を整えなければならないと考え、スクールバスで10分で行ける場所に学校を統合するのだと。

区民 人口が減っていくのは、このグラフを見ればよくわかる。いずれ睦合地区、栄地区というのも無くなって1つの地区になっていくのだろうという気がする。小学校の入学児童数を見ても統合は当然かと思う。しかし、小規模校のメリット・デメリットを見ると、保護者の方々はどう思っているのだろうか。ただ数が減ったから統合するのだと一括りにするのではなく、地域の協力を得ながらデメリットを克服していくという方向もあるのではないか。

教委 小規模校のメリットは、万沢小学校の例が如実に物語っており、実際に素晴らしい成果を上げている。そのメリットを評価する声がある。しかし、我々が心配するのは、子供同士の評価が固定されやすくなることであり、固定的な人間関係により、一度人間関係が悪くなると改善が難しい状況が出てくることだ。実際に事例があり、子供の一生に関わる問題となるデメリットとして捉えている。

区民 3～4人の間でこじれたら深刻だ。

教委 教師との関係も濃密になる。

区民 睦合・栄小学校については、平成38年を目途に統合することが望ましいと記されている。保護者の間では、10年後に統合することは既に決定しており、どちらの学校になるかが問題になると言われているようだ。具申書では、2校の保護者及びそれぞれの地域住民に十分説明し、理解を得た上で統合することが望ましいとある。これは、これから将来に向けて説明されることになるかと理解してよいのか。

教委 今、皆様に説明しているのは、方向性についてご理解いただくための第1段階であり、皆様のご理解を得たと判断したら、第2段階として検討委員会を立ち上げて具体案を練っていただく。さらに、その具体案についての説明をさせていただくことになる。

区民 巷では、既に具体案が出ているようだとの噂が出ていた。

もう一つ質問。万沢地区では、保護者は統合に賛成で、保護者でない方々は学校が無くなると寂しくなるから反対していると聞いたことがある。実際、区を回ってそういった感じを受けるか。

教委 万沢地区の皆様からは、厳しいご意見をいただいている。万沢小学校は、素晴らしい成果を上げているのに何故統合しなければならないのか、小学校があるから地域が活性

化するのだ、地域の人々の生きがいに繋がっているといったご意見だ。

私たちは、メリット・デメリットを勘案する際、子供の一生を左右するデメリットがあることを重く見ており、様々な交わりができる環境を整えることが子供たちの健全な発達に必要なだと説明し、理解を求めた。

区民 子供にとって何が一番大切かということに方向性があるならば、それを大事に進めてほしい。反する意見があったとしても、子供本位に考えてほしい。

教委 最終的に判断する必要があると思っている。今はご理解をいただくことに努めている。

先程の人間関係が濃密になりすぎることによって起きる弊害についてだが、それが中学生になって顕在化する例がある。その元をたどっていくと小学生の時に広い人間関係の調整能力が培われていればといったことに行き着く。自ら調整する力を身に付けるためには、ある程度の数というものが必要であり、国が定める2学年合せて16人、1学年にすると8人という数は根拠がある数字だと思う。この人数を超える環境を整えていきたい。

区民 Bグループの統合は平成38年度とあるが、遅いのではないかと思う。今のままの状態で、しかも年々子供が減っていくのであれば、もっと早くすべきだ。

区民 統合するとなれば、子供たちにとって新しい環境となる。なじめないといった悩みや不安を感じる子供もあるだろうし、いじめが起きる可能性もある。子供から直に話を聞けるカウンセラーの配置ということは考えているのか。

教委 参考になるご指摘ありがたい。中学校の統合時に町が有資格カウンセラーを雇って配置した。今も引き続き勤務しているが非常に役立っている。心のケアは必要だと思っている。

統合時期が遅すぎるというご指摘は、他区からもいただいた。教育委員会としては、基本的にそれぞれの学校が良さを発揮して頑張っている今の姿を大事にしたいと考えている。その良さを維持が困難になるであろう時期を統合のタイミングと考え、設定した。

区民 目途とは決定ではないということか。また、理解を得た上でとあるが、何を基準に理解を得たと判断するのか。

教委 より多くの方に対して意向調査をしなければならないと考えている。

区民 最終的な判断は教育委員会がするのか。

教委 設置者である町長が判断し決定することになると思う。

区民 どこで何を理解されたのか判断が難しいと思う。

区民 Bグループで統合となると、井出・十島が富河へ通学する区割りになるのか。

教委 どちらの学校を使うかについての案は出されていないので何とも言えないが、遠距離通学になると学区再編の可能性はあると思う。しかし、今は全くの白紙だ。

区民 もしそうなると考えた場合、対象区民はどう反応したか。

教委 昨晚の懇談会が十島区だった。災害時のことなどを考えると近い場所の方が良いと

いった意見が出され、学区にこだわりがあるのではと予想していた我々には意外な反応だった。他の考えもあると思うが昨夜は出なかった。

教委 熱心なご意見感謝する。今後、具体的な案を検討していくことになると思うが、いただいたご意見を反映していくことが充実した内容につながると思う。

【栄地区】

内船上区 5月29日（月） 第5日目 出席者12人

区民 なぜ保護者がこの会場に集まっていないのか。

教委 周知はした。関心を持っていただいた方が、今ここにいらっしゃる。

区民 保護者が関心を持たないというのは、おかしい。

教委 現在の保護者は、10年後は無関係だという考えかもしれない。

区民 昨年の説明会の結果を見ても、参加者があまりにも少なすぎる。無関心は問題だ。事務局としてもっと考える必要があるのではないか。10年後は関係無くなるとしても、今の保護者が考えるべきことだと思う。ここにいる高齢者に任せるようでは話にならない。

区民 若い人たちが一生懸命にならないと進まない話だと思う。

教委 保育所・幼稚園保護者については、幼い子がいる家庭ということに配慮して、各施設の会合に合わせて説明時間を割いていただいた。人数は少ないが、これが今の実態で出席率は高い。説明時間は30分だったが、こちらの思いは伝えた。

小学校保護者については、この出張教育懇談会と同時期に各学校で保護者が集まる会議の時に時間を割いていただくよう手配しており、富河・万沢小学校は日取りが決まった。

区民 前のアンケートでは統合すべきという回答が多かった。何故、統合時期を10年も先に設定したのか。

教委 睦合・栄小学校の統合は、長期的な視点に立って結論を出す具申書にある。現在のところ過小規模化といった状況に至っていない。ただし、少子化はこの先も続くことが予想されるため、概ね10年後を目途にといった表現になっている。仮に10年後、過小規模校になっておらず児童数が維持されていれば、具申書どおりにはならないかもしれない。教育委員会は、生きる力を獲得できる教育環境を第一に考えていることをご理解いただきたい。

区民 早いほうが良いかもしれない。人口減少は、税収減も招くし財政はますます圧迫される。その負担は誰がするかということになるが、結局それは町民だ。もっと皆が関心を持つべき事柄だ。長期的な視点に立つのではなく、喫緊の課題としてとりあげなければならないと考える。そうした上で呼びかけをしないと、これではいけないと思う。

教委 参加者が少ないことは残念だ。

我々が自らを戒めていることは、町民が無関心のままにことを進めてしまってはならないということだ。この説明も二年目に入って、よりきめ細かな形での説明会を持とうと

考え、その前に全世帯にパンフレットを配った。ただ、保護者の方々の参加を促す算段をせずに懇談会を計画しており、実際このように保護者が少ないということは、ご指摘のとおりごもっともだ。

統合が近くに迫った富河・万沢小学校については、6～7月に保護者を対象とした説明会を開催する。

10年後と言わずもっと短いスパンで考えられないかというご指摘だが、基本的には今、子供たちが学習集団・生活集団としてうまく機能している状態であれば、それを維持すべきだ。集団としての機能が維持できない、本来獲得しなければならない人間関係力がこの人数では無理だといった状態になったら統合する必要があると考えている。10年後とは、そういった時期を予測してのものであり、子供の数の変動で時期がずれることもあるかもしれない。

区民 集団で学習することができない少人数学級がある。教職にあったころ、1クラス40人いれば活発な活動ができたが、30人だと活動機能が落ちた。現在、4校合同授業があると聞いたが、そういったことを意図してのことだと思う。子供たちが喜んでしていると聞いている。南部町は、何故10年などと悠長に構えているのか。私自身も子供のころ、中学校統合によってより多く活動の場ができ、良かったと思った経験がある。

栄小学校は、子供が減ってしまい学級経営がもはや成り立たなくなっている学年もあるようだ。保護者が望むのなら早く統合すれば良いと思う。子供の幸せを考え、保護者の意見をよく聞いて進めていただきたい。

教委 進めるにあたっては、賛否両論ある。私たちとしてはできるだけ多くの方の理解をいただくというスタンスを崩すわけにはいかない。そのために、地域に出向いて理解を求めながら進めるには、ある程度時間が必要になる。

区民 富河・万沢小学校の統合については、賛否の声が上がっていると聞いた。昨年からの議論で相互理解が進んでいるのか。

教委 この機会において、それを感じてきたい。万沢地区の懇談会は来週から始まる。

区民 グリーンハイツ入居募集の際、小学校が近いと説明があったが、その小学校が無くなってしまうという声を聞いた。入居者の反応はどうか。

教委 入居者の中には、少人数でなく、ある程度人数のいる学校への入学を希望する保護者がいる。教育委員会として、直接要望を聞いた。入居者は、それぞれの考えがあるようだと感じた。

区民 小学校の統合は賛成だ。

富河・万沢小学校の統合で賛否が分かれているのは、どういった根拠によるのかが問題だと思う。南部中学校統合の際、問題になったのは授業の前と後の時間、通学に関することだった。やはり、小学校も放課後の時間をどうするのが問題なのだと思う。その時間帯に誰が面倒を見るのか、今はどこも共働きで家は空になっている。そこを親は心配するのだと思う。町はどう対応するのが焦点になるのではないか。何らかの案がなければ議

論が進まないと思う。

教委 まず、何故統合が必要となるのかご理解いただくことが重要だと考える。このことに同意をいただいた上で、次に課題となることをどう解決していくか検討するという段階に進むことが望ましいと思う。諸課題の対応案も含めての議論は、各論の賛否も入り乱れ、混乱を招くおそれがある。

区民 財政上の問題も勘案する必要があるのではないか。

教委 学校統合が歳出削減に直結するとは言い切れない部分がある。廃校となる学校の管理費はなくなるが、スクールバス経費や統合によって新たに加わる経費が生じるからだ。中学校統合時の比較では、2校減ったにもかかわらず大きな差は出なかった。

教委 放課後の子供への対応が賛否に影響を及ぼすところのご指摘は、おっしゃるとおりだ。富河・万沢には児童館が設置されており、次の段階では、両施設の活用法等具体的な検討に入っていくことになる。確かに通学の利便性には着目していたが、放課後の対応も議論していく必要がある。ご指摘感謝する。

区民 配付された「小学校のこと」を読んで様子がよくわかった。地方交付税に頼る町にとって大きな問題だと思う。多くの人に説明を聞いてもらうことは大事だ。粘り強く取り組んでいただきたい。

これまでの区懇談会で、4校を1校にしたかどうかという意見は出たか。

教委 出た。他にも小中一貫校として義務教育学校にしたかどうかというご意見もあった。児童数から考えるとそういった発想もあるかもしれないが、通学区域が広大となり、私たちが想像する以上の身体的通学負担が子供たちにかかる。通学にはなるべく負担をかけないよう配慮するのが原則であるため、2小学校が適正配置だと考える。

区民 小学生の保護者としては、小さな集団より大きな集団で学んでもらいたい。自分の小学生時代は、20～30人規模だったので、その位の人数での教育を希望する。今日出席されている皆さんは、統合には賛成のようだが、内船上区の中には、もし栄小学校が無くなるであれば寂しくなると感じる人もいると思う。

教委 私たちは、子供たちにとって望ましい教育環境を整備するという純粋な教育論で理解を求めているが、他の区の方から、防災の拠点や心の拠りどころとしての影響も含めて議論してほしいというご意見をいただいた。確かに学校は子供の教育以外のつながりがあり、ご指摘をありがたく受け止めた。

区民 教育委員会の教育ビジョンを大勢の方に知っていただくこと、また、様々な意見を受けながら進めることは大事だ。そういった意味で、小学校保護者への周知に積極的に向いてほしい。

地域と子供たちのつながりについて、若干不安がある。文部科学省の学習指導要領には地域の文化・郷土愛といった言葉が盛り込まれている。学校の統合は、地域とのつながりを希薄にし、学校でそれにどう対応するのか考えざるを得ないと思う。特に学校から離れた地域とのつながりをどうするか問題だ。学校が地域とのつながりを持つ努力が求めら

れる。同時に地域の方に学校に協力するという気持ちを、いかに持っていただくかが大事になってくる。4校が2校に統合されれば、そこに関わってくる地域の代表でつくる運営協議会のようなものができると思うが、そういった方が学校のことを地域に伝える、また、学校から協力要請があったときは協力する、その積み重ねが必要になると感じている。南部中学校が統合した時は、内船歌舞伎を演じたり地域へ出かけて地域の学習をしたり、ボランティア活動をしたりといった取組みがあった。こういったことを住民の皆さんに知っていただきたいし、我々地域住民も関心を持つべきだ。小学校も中学校も学校だよりを地域に回覧している。

避難所としての位置づけは、子供がいる・いないではなく地域防災の部分で考えることになると思う。

教委 今、南部中学校で取組みを進めているコミュニティ・スクールのことに触れていた。

富河・万沢小学校の統合に対する代表的な反対理由が2つあり、1つは、小規模でも成果を上げているのだから統合する必要はないという意見。確かに高い学力と頑張る子供の姿がある。もう1つは、年配の方々からの地域から学校が無くなるのは寂しい、地域が衰退してしまうという意見だ。

地域から学校が無くなるということは、なにかポッカリ大きな穴が開いたようで、地域の活気が薄れてしまう寂しさはあるだろう。しかし、現在学校では学校経営・運営が大きく変わりつつある。今までは、学校は閉じた空間で先生と生徒児童で完結していたが、近年は、外部の意見を取り入れ、外部の人に参加してもらって学校を地域に開放するなど、地域と学校を太いパイプで結んで学校経営をしていく制度へと移行しつつある。これが文部科学省の提案している学校運営協議会という制度だ。これは全国に増えつつあり、南部中学校がその取組みを始めたところだ。地域の方が学校運営に参画し、意見を反映させるシステムができつつある。この会議では、毎回活発な意見が交わされている。今後、地域の方を講師に招いて授業に参加していただいたり、逆に生徒が地域に出向いて地域に貢献したりといった双方向の動きを作っていこうとしている。さらに各小学校でもこのシステムを作っていこうと考えている。そうなれば、万沢小学校が無くなっても万沢の人が新たな学校運営に積極的に参加できる。その仕組みを学校統合と関係づけながら成果を上げていきたいと思っている。

区民 教育長の考えはよくわかる。私自身の考えは別にある。先程紹介された人口推計では20年後の1学年当たりの人数は40人台だが、総合戦略の基となった推計では20人台となっている。大変気にかかる数字だ。行政の人口減少対策への意気込み感じられる総合戦略だが、思ったような成果が出るか心配だ。私が調べている人口の減り方から予想すると、平成47年の年少人口は320～330人になるだろう。人口減によって商店は減り、若者が定住するための産業も衰退し、就労先が無いために転出に歯止めがかからないといった構図になってしまう。若者が転出してしまうので空き家が増え、高齢者ばかりに

なっていく循環になっている。それらを阻止するための雇用創出は見込めないのではないか。

具申書には、Aグループ・Bグループが統合され、2つの小学校となった先のことにについては、状況は分かるような気がするが、触れていない。私たちにとって20年後を語っても詮無いことかもしれないが、孫の世代がどれだけここに残っているかが鍵になる。我が家にも孫がいるが、町内には住んでいない。戻ることはないだろう。全体の傾向ではないかもしれないが、子供の数が減っていくということは間違いなく、町の規模からすれば1小学校という意見が出るのもわかる。教育委員会は、答申を受けての具申ということだが、仮に1小学校にという声が高まれば、その意見を尊重しなければならないと思う。しかし本日、内船上組での開催となったが、関心が高まらないのか参加者は少ない。具申書に沿って進めていかざるを得ないだろう。それが最善とは考えづらい部分もあるが、ベターという形で進んでいるのだろうと思う。その後に出てくる問題については、どうすれば解決するかといったことを考えながら進めていくことになると思う。

100%の合意はありえないので、過半数を得た意見が尊重されると思うが、様々な意見を集約しての教育委員会の判断を信頼してほしい。

教委 多くのご意見ありがたい。Bグループの統合についての詳細は示されていない。統合すべきとの判断が下されれば、詳細について検討する会議が設けられることになることが予想される。すべての会場を回った後、いただいたご意見等を分析して教育委員、町長に報告する。

内船中区 5月20日（土） 第2日目 出席者9人

区民 小学校統合のことは、既に決定していることだと聞いた。そういった声は、教育委員会に届いているのか。

教委 そういう声は聞いていない。統合は決定していない。案としてお示ししたものを皆様にご理解いただくよう努め、ご理解いただけたと判断したら設置者が統合を決定するものだ。

区民 富沢地区が平成33年度、南部地区が平成38年度と、合併する年度まで明らかにしているのは、決定と同じではないのか。

教委 決定ではない。方向を示しており、それを皆様にご理解いただくよう説明させていただいている。

区民 教育基本法や学校教育法は、戦後できた。当時は右肩上がり、行け行けどんどんといった時代だった。近年は皆生活が厳しくなってきた、共稼ぎでなければ生活できなくて、子供の数が減ってきた。世の中が衰退していくことは、当たり前と言えども当たり前だ。統合についてもコスト面や教育の効率化を考えると、どこでも同じようなことをやってい

て、当たり前と言えども当たり前。適正規模検討委員会に諮問したとしても、答えは初めから「統合すべき」と決まっていたようなものではなかったか。当たりのことが答申されて、それを具申したということだと思う。そういう自覚はあるか。10年後には統合されると理解している。

南部町全体で統合すべきかアンケートをとれば、子供の数が減っているのだから「統合すべきだ」という結果が出てくると思うが、栄小学校区の住民からアンケートをとれば前回アンケートと違った答えが返ってくるはずだ。先程、教育環境整備と他のことは分けて考えてくれと言われたが、我々は分けて考えることはできない。学校とは、地域のシンボリックなものであって、学校で様々な行事が行われる。世界の人口は、半世紀で倍以上になり、地球をいじめたために大きな災害が発生するようになった。これからは災害を念頭に置いてものを考える必要がある。栄小学校は、エリア防災という位置づけがあり、何かあったときには体育館も運動場も必要だ。そういった意味で「分けて考える」ことはできず、跡地利用も一緒に考えていかねばならないことだと思う。確かに小規模校のメリット・デメリットは理解できるが、他自治体と同じことをするのではなく、南部町独自の考え方をする必要もあるのではないかという気がする。

教育委員会はきめ細かく説明会を開催しているが、10年後に小学校統合の影響を受ける人は、この会場にはいない。これから結婚し子育てする人たちなのだが、その人たちがここに住むかわからない。結局、この具申どおりに進められるのだろう。南部町は、良くも悪くも「役場が決めたならしょうがない」と受け止める住民が多い。しかし私は、できれば分校でもよいから学校という形態を残してほしい。災害や行事の時に使える公共施設は残してほしい。小規模でもきめ細かな教育が受けられるということで、この町に住むことを選択する人もいると思う。よそと同じことをしていれば、同じように減ってってしまう。

教委 貴重なご意見、ありがたい。

まず、統合ありきで今日に至ったわけではない。諮問した当時は、まったくフラットな状態でスタートしたと理解している。適正配置検討委員会では、様々な意見が活発に交わされたが、それらは町民を代表する方々の貴重なご意見であり、そういった経過を経て出された答申に沿って町長に具申したものだ。ここに至るには、多くの議論の積み重ねがあったことはご理解いただきたい。

区民 客観的に見て、様々な資料により判断されると思う。そうであれば、統合するという結論しかないと思う。残すべきだという結論はおかしなものになる。

教委 諮問したときは、子供が生きる力を身につけるために適切な環境と言えるかという危機意識を持っていた。しかし、あくまでもフラットな気持ちで臨んでいた。

区民 Aグループは、富河小学校を使うということが書かれているが、Bグループは、睦合小学校、栄小学校のいずれを使うかについて、まだ決まっていないということか。

教委 決まっていない。統合に理解が示されれば、それを具体化するための検討を始めるこ

ととなる。

区民 教育委員会としては、案を持っているのか。仮に栄小学校を支持する声が多ければ、栄小学校となるのか。決定は多数決か。

教委 そういった問題については、検討していただく会議を設けて協議していただくことになると考えている。

区民 児童数が多い小学校を使うというのが現実的ではないか。そうであれば睦合小学校となり、協議するまでもない。

区民 建物の耐震性について、栄小学校より睦合小学校の方が優れていると聞いたがどうか。

教委 両校とも耐震基準は満たしている。栄小学校は建築時に満たしていたが、睦合小学校は満たしていなかったのもで（平成 15 年度実施）に耐震改修した。

区民 老朽化という点ではどうか。

教委 睦合小学校は後に耐震改修をしているので新しく見える。

区民 栄小学校の近くに住んでいる。子供の声が聞こえると癒される。残ってほしい。

区民 分校ではいけないか。

教委 子供の数があまりにも減ってしまったら望ましい環境と言えなくなる。

区民 子供の人数減が問題ならば、山村留学とか子供をよそから受け入れることによって解決できないか。

教委 早川町では家族で移住、旧芦安村では子供だけの受け入れといった取組みがあったが、いくつか問題が出たと聞いた。

区民 栃木県では、引きこもりの子供たちを町の施設で預かっている村があると聞いた。また、稲子では古民家を売り出して静岡からの移住があったと聞いた。移住という形で子供を増やす施策はいかがか。

区民 子供の医療費や子ども手当は他自治体と違いがあるか。

教委 同じだ。

区民 ならば、それに少し色を付けて子育てに厚い支援をするなどして P R すればよいと思う。そうすればこの町に住もうと考える人も出てくるのではないか。南部町は厳しい財政状況と聞いているが、移住者があれば税収が増える。

教委 移住政策に取り組んでいるが、空き家バンクへの登録が増えない、持ち主は需要が多い賃貸よりも売買を望んでいるなどといった課題があり、就労先の斡旋も求められている。就労先については、静岡県に隣接しているメリットが生かせるが、アクセス向上がカギとなる。

町は、子育てに力を注ぐ姿勢を示している。学校教育では今年度タブレット P C を小中学校に整備し、I C T 支援の人材も確保された。

移住と子供増については、永続的なサイクルとならないので一時的な増にとどまることを認識いただきたい。

教委 早川町は、義務教育にかかる費用は、すべて町負担となっている。本町では、義務教育就学児童生徒が３人以上いる場合の給食費を３人目以降無料化、小学校入学祝金の３千円から２万円への増額といった支援をしている。

区民 親も子も増やす方法として、宅地分譲がある。固定資産税免除などの優遇策で移住促進できないか。また、２男３男が家を建てたいと思っても農地転用が難しいのでやむなく町外に住んでいるという話を聞いた。町は、無理なものもあるかもしれないが、人口対策としてそういったことに対する取組みが必要だと思う。転出を思い止まらせ、出ていった人を呼び戻す施策を考えてほしい。

教委 公平性を維持しつつ、様々な支援が必要だと考える。

区民 中区には町営住宅があるが、入居者がいなくなった住宅は、老朽化により取り壊しが進んでいる。跡地利用計画はあるのか。中区としては宅地分譲などで人を増やしてもらえば活性化する。

教委 ありがたいお申し出だ。町に伝えていただきたい。

移住政策において、受け入れ側の準備が整っていないのが問題となるケースがあるので、そういったことについて取組んでいただきたい。

区民 事前に約束事として、受け入れる側と移住者側とで確認しておけば問題は起きにくいと思う。

子供の数を増やすことについては、広い視野でいろんなことに取組んでほしい。

教委 万沢地区で万沢地区ゆかりの家族の移住を実現した例がある。町内各地でそういった動きが広がることを期待する。まずは地域の理解と協力が欠かせない。

区民 諮問・答申・具申という流れの中で、具申する前に町民の気持ちを汲むことはなかった。既に具申書は提出されており、今、説明会が開かれているということは、具申書の内容を理解してくれということで間違いないか。

教委 間違いない。ただし、理解を得られたかどうか判断するためには意向調査のような客観的資料が必要になると考えている。

区民 具申書が案の段階で町民の声を聞いてほしかった。その段階ならばいろんな意見が出たと思う。今、〇〇ファーストという言葉がはやっている。アンケートの話が出たが、中区住民ファーストではないが、栄小学校区の住民の意向は前にやったアンケート結果とは別なのかなという気がしている。感情論もあるし教育論もあるだろう、さらには学校以外の機能としての学校施設といった捉え方もあるので、賛否を問えば違った答えが出てくるような気がする。

具申書が既に提出されている状況での説明会ということは、統合するためのプロセスの一つと理解している。きれいごとをおっしゃっているが、ある意味しょうがないのかなと思っている。

区民 こういう時代になってしまった。しかし、通学時間が延び、クラブ活動や地域活動に制約がかかることなどによって、他との教育格差が生じるのは嫌だ。そういったことがきつ

かけとなって転出に拍車がかかることを心配する。

区民 インターネットを活用した何かができないか。

教委 昨年のPTAを対象とした会議では、ICTを活用して共同授業ができないかといった意見が出た。技術がさらに進歩すれば期待できる。

区民 この懇談会の開催について手を挙げた区はいくつか。

教委 今のところ16区だ。(後に17区となった)

区民 栄小学校と睦合小学校が統合して、睦合小学校を使うことになった場合、井出・十島の子供たちはどうなるのか。

教委 学区の見直しををしているが、ある意味統合よりも困難を伴う作業となるかもしれない。

区民 現時点で青写真のようなものはないのか。

教委 まったく無い。答申の内容に沿って具申書に書いてあるが、どんな方法でどんな形にまとめていくかについては述べていない。

区民 地域と子供が接する機会が減っている。小学校の運動会においても、保護者以外は何かの役員ぐらいしか参加していない。昔は地域ぐるみで参加した。学校に対する地域の目が薄れてきた。地域の人材を活用するなど、地域に開かれた学校を望む。

区民 絆が薄れてきた。

教委 コミュニティ・スクールという制度を平成28年度から南部中学校で始めた。テーマは「地域と共に歩む学校」。地域の人が、学校にボランティアという形で関わっていただくシステムを考えており、これから本格化していく。南部中学校を手始めに、各小学校にも地域の人が関われるシステムをと取組みを始めた。名前を学校地域支援本部と言い、総合会館の教育支援センター内に設置した。

学校と地域が深いつながりを持っていく中で子供たちが学ぶ、という部分を大事にしていきたい。

区民 統合するということは、既にこういった具申も出ているし、理解してくださいということはある。私たちが気にするのは、防災とか跡地利用である。しっかり検討して地元の意向を反映する方向で努力していただきたい。

区民 区の防災対策は、他の区に負けなくらい幅広く熱心に取り組んでいる。

栄小学校のようなしっかりした建物があれば避難ができる。栄小学校が存続すれば、管理が行き届くので避難所機能は維持されるだろうが、廃校となった場合、それが維持されるのか疑問だ。

教委 教育委員会としては、子供の教育という部分について具申したわけだが、地域の方々は、地域づくりや防災の面から学校を考えておられるという熱い思いをお聞かせいただいた。教育委員会だけで結論を出すことができない部分もあるので、持ち帰って、町長をはじめ担当部署に伝える。

貴重なご意見をいただくことができた。これからも地域の皆様のご意見をいただくよ

う努めるので、皆様にも引き続き関心を持っていただくようお願いする。

十島区 6月10日(土) 第11日目 出席者12人

区民 十島区は万沢地区に近い。

万沢小学校児童数は、この先数年急激には減少しないようだ。地域は学校に密着している様子がうかがえる。統合の前に何か考えられないか。地域ぐるみで教育に関わっている様子は皆さんご存知だと思うが、子供は、会うと向こうから挨拶してくるし、素晴らしい教育がなされている。

子供が減ることによる教育上のデメリット解消のための統合はわかるが、今できることの部分をもう少し考えてもよいのではないか。性急に統合を進めるのではなく、各学校の良さを認めることも大事だ。

教委 確かに万沢小学校は小さいながらも、そのデメリットを克服すべく先生たちは頑張っているし、子供たちも成果を随所に見せている。保護者や地域が学校を支えている姿を見ており、ご指摘のとおりだ。

統合については、短期・中期・長期を設定して検討しており、万沢・富河小学校は5年先には何とかしなければいけないと考えた。できれば4校それぞれの良さがあるので、維持したいとは思っているが、5年先・10年先の状況を考え、今、その時の方針を打ち出しておかねばならない。ご理解いただきたい。

他区では、これだけ減ってしまっているのだから短期と捉え、早急に統合すべきだとのご意見も出たが、今申し上げたような説明をさせていただいた。

区民 高校の統合の説明に出たことがある。子供が減るから学校を減らす、学校を減らすから子供が減る、こんなそろばんは誰でもはじける。その前に人口を減らさない努力をしたか質問をしたら、学校がやっているとの回答だったので、それ以上言うのをやめた。

人口が減るのは、ずっと前から分かっていた。50歳になる息子が子供の頃、PTAの会議で、これから子供が減るからぼつぼつ統合のことを考えたほうが良いと発言したら、今そんな話をされたら大変なことになると先生に止められた。

急にこうなったわけではなく、どこも同じような状況だ。それに歯止めをかける努力をしているところが九州にある。そこに行ってどういふことをしたのか聞いたところ、芸術家を2人呼んで、彼らを盛り立てたとのことだった。湯布院だ。今からでもできる、やることをできるまでやる必要がある。最初からうまくいくことはない、会議だって1回やって駄目ならまたやればいい。今のままだったら集落崩壊どころではない、学校が減るといふことは病院から何から皆減るといふことだ。そこのところを真剣に考えるべきだ。南部町でも芸術家を呼んだようだが、盛り立てようとしていない。皆で努力しなければならない。人口減少問題は子供のことだけではない。

子供が減り、子供が多いほうの学校に統合する考えのようだ。身延線敷設の際、栄側と成ったのは地盤が強固なためだった。そういうことも研究しておかないと、地震の被害が

大きくなる恐れがある。具体例では、白鳥山崩落の痕跡は最近のものだ。ただ人口比でどちらが多いということではなく、しっかり研究してほしい。

利用者が減ってしまった東海道線は、12両編成を6両に減らしたり2両の電車を走らせていつでも乗れるようにしたら、昔以上の活況を呈するようになった。皆が知恵を出し努力した結果だ。減ったから減らすということをしていたら限界集落がたくさんできてしまう。このことについては、無関心で人任せの人が多いが、上に立つ人は努力してもらいたい。

教委 地盤についてだが、確かに富士川右岸は地滑り地帯があり、左岸はしっかりしている。しかし、左岸も線路より上は良いが下は軟弱地盤が多いことを調べた。

人口減少については、行政も長く危機感を抱いている。原因の一つは、若者が就労する場所が無いこと。若い人は高等教育を受け、一旦都市部で生活し、希望する職種、地方にはない職場に就労し、そこに永住してしまう。皆様のご家庭でも、こういった状況が多いのではないかと。企業誘致をしたくてもなかなか適地が無い。あえて挙げるなら農地だが、農道や水路整備に国の支援を受けているため、農地の転用は困難だ。中には宅地にしたいと申請したが何年もかかってしまうために、町外に転出してしまった例もある。

自治体の財政には、その年の歳入はその年の住民福祉に充てるという原則があるが、税収が豊かな自治体は、プラスアルファの仕事ができる。南部町は、歳入の半分以上を普通地方交付税に頼っているため、財源に余裕はない。しかし、南部町には地の利がある。隣接する静岡市、富士宮市、それと富士市を合わせると110万人の人口となり、83万人の山梨県人口を上回る。住むところは南部町、働くところは静岡という選択をしていただくことが人口増の近道だ。町長はそれを考え、国道469号線の早期整備、新々富士川橋によるボトルネックの解消、静岡への県道整備などを働きかけている。静岡市方面は、中部横断道完成が近づいている。それらが進めば、南部町の状況はかなり変化するだろう。

ご意見にあったように自治体職員は、住民の声にもっと耳を傾けるべきだ。皆様も声を大にして訴えていただきたい。

区民 津波に備えて、内陸に土地を求める動きがある。南部町は気候が良く、今のところ地震活動予兆が少ない。そういったことをアピールすれば良いと思う。

教委 南部町は温暖で住みやすいところだ。雨が多いが、それによって雨対策が進められ、時間雨量50mm位では心配ないとされてきた。しかし、最近はゲリラ豪雨による被害が深刻になり、南部町も例外ではない。

問題が一つある。それは水が無いことだ。町は中野に企業誘致用地を求めたが、地下水源がない。水道も水源を表流水に求める地域が比較的多い。

教委 町内に住む芸術家の話が出た。何人か町内で活動している芸術家がいる。湯布院のように町おこしを想定した取組みではないが、生涯学習課が「町内に住む芸術家展」を開催していることを紹介させていただく。参考になるご意見ありがたい。

区民 睦合・栄小学校の統合に際しては、どちらの学校を使うのか。

教委 まったく白紙だ。

区民 そうであるなら、十島の子供たちがどうなるかが大きな関心事となる。どこの学校に通学することになるのか、学区が変わるのか。

教委 睦合・栄小学校統合について、具体的な案は出ていない。各区を回ったり小学校で再度説明会を開催するなど、丁寧な説明をさせていただいた後、ご理解いただいたと判断したら、具体案についての検討会を立ち上げなければならないと思っている。よって現段階では白紙だ。

区民 距離が近いので富沢地区への編入もありうるのかなと思う。

教委 当然、地域の皆様のご意見や保護者の皆様のご意見をきちんと受け止め、考えていくことが必要だと思う。

区民 万沢小学校が近いから、そちらに通ってもよいのではないか。学区はまだあるのか。

教委 南部町は明文化した学区は無い。なぜかという、地形ではっきり分かれているからだ。昔からの慣習で分けられているから明文化する必要が無かったのかもしれない。基本的に今の学区に通わせるのが現在の考え方だ。

区民 もし睦合小学校に通うとなった場合、災害などの対応に不安だ。遠くなるので抵抗を感じる。

教委 富河・万沢小学校の場合、スクールバスによる通学上の問題として、災害時の対応を心配するご意見が多く出された。子供が帰れなくなったら、親が迎えに行けなくなったらどうするのかというご意見だが、私たちはそういうことを想定しながら案を練らなければならない。小・中学校に対応策として食料や水、毛布などは備蓄しているが災害対応は難しい。

教委 各地区を回ると、早く統合せよとか、成果を上げている万沢小学校を何故統合しなければならないのかとか、若者定住策を展開する万沢から学校を無くしてしまうのは矛盾しているのではないかなど、お叱りの言葉を受けることがある。それぞれにお答えしているが、矛盾については次のような説明をさせていただいている。若者の定住はこれからの財産となり、教育委員会はその方々の子供に過小規模化していない学校を用意しようとしているのだと。

今夜いただいたご意見をストックさせていただき、今後の参考とさせていただく。貴重なご意見感謝する。

【富河地区】

文京区 6月25日（日） 第17日目 出席者18人

区民 身延町で多くの小学校が統合したが、保護者の意見等が紹介できるようだったらお願いしたい。

教委 保護者からの感想、意見を聞くことはできていないが、統合に携わった担当者の声を聞いた。「統合に関しては町中が落ち着かず、特に下部地区は事態が紛糾した。しかし、

統合後の子供たちの目の輝きを皆に見てもらいたい。」とのことだった。

区民 随分前になるが、PTA会長の時に統合の話が出た。この資料にあるのとまったく同じ意見が出た。

我々の生活圏は甲府ではなく、富士・富士宮市、静岡市であり、そこから人を呼び込む必要があった。しかし、若者が住めるところがなかった。外に働きに出れば、そちらに住んでしまう。雨量規制のかかる道路事情も問題だ。それらが昔と少しも変わっていない。これでは小学校が統合しても何も変わらないだろう。

当時は、各論に反対が多く統合には至らなかったが、2校にすればかかる経費が削減でき、町のためになるという話も出た。

教委 住環境の改善が進まないことは反省する。町が直接できる事業であればすぐ取り掛かることができるが、相手の理解を得ることが求められる事業などは地道に取り組むしかない場合がある。

区民 若い人が出ていかないようにするには、企業を誘致するとか、働く場所をつくるといった具体的なことをしないと絵だけで終わってしまう。

教委 そういうことにならないよう努力する。

学校にかかる経費だが、統合しても思ったほど減らない。スクールバス関連が大きいが、他にもカウンセリング体制だとかより良い学習環境の整備にかかる費用などの経費が嵩む。中学校統合時の統合前と統合後の実質的なコスト比較をしたことがあるが、大きな違いはなかった。きめ細かな通学支援としてバスの運行台数が多く、1台にかかる経費は購入費を除いて約600万円になり、経費が嵩んだことが大きな要因だ。いずれにせよ、統合によってより良い学習環境が整うということは、子育て環境を充実させるという点で大きな意味を持つ。

区民 教育環境は、子供が少ないより多いほうが良い。

教委 町の将来像も考えていかなければならないというご指摘、ありがたい。定住して生活が保障される環境という点については、学校教育を含めて教育委員会では教育面での施策を考えていくが、町長をはじめ各担当部署に報告する。

統合の話があったのは町合併の前か後か教えていただきたい。

区民 合併前だった。4小中学校のPTA会長が集まって話し合った記憶がある。

教委 当時と違い、児童数が急減した今、手を打っておかないと手遅れになってしまうかもしれない。確かに今はうまくいっているが、一つ歯車が狂うと人間関係が濃すぎて修復が困難になるリスクが高まる。私たちは切迫感を持っている。

区民 具申内容は、南部地区・富沢地区に1校ずつとなっているが、検討する過程で4校を1つにするという案は出なかったのか。人口推計を見ると、この先また統合しなければならないということも考えられる。

教委 検討委員会では1校という案は出なかった。A地区・B地区で学校を何とかするというスタンスだった。教育委員会の方針は答申を尊重した1中学校・2小学校だ。人数的に

は1校にすれば2クラス編成が可能になるが、通学にかかる負担を考慮した。スクールバスによる通学なら負担は小さいと考えられがちだが、実は大きい。特に小学校低学年の負担が大きい。また、町は2つの町が合併したため、エリアとしては非常に大きい。そういったことを考えると旧町に1つずつ配置することが望ましいと考えた。

区民 現在、富河小学校のPTA会長を務めている。峡南地域の小中学校児童生徒数一覧を持参したので回覧していただきたい。管内では市川東小学校13人と早川南小学校21人・北小学校13人となっており、この3校が万沢小学校より児童数が少ない。

教委 貴重な資料をご提供いただき感謝する。

教委 それらの小学校について、統合するという話は聞いていない。それぞれの教育委員会の考え方、町の施策の関係で方針が出ているのだと思う。南部町では、数にこだわっている。国や県の複式学級の基準は1学年にすると6～8人であり、それを下回ると子供の育成に関しふさわしくないと判断されるのではないか。これは児童心理学や発達心理学の裏付けがあつてのことだと思う。私たちはそれに基づいて判断し、統合を進めていることをご理解いただきたい。

区民 工業団地をつくるよう町長に伝えてくれ。

教委 万沢地区の方々からは、公共施設が無くなってしまうことについて、どう思っているのかというご指摘をいただく。どうしても規模が小さいところが影響を受けることは否めないが、万沢・富河という視点から富沢地区という視点に切り換えていただくことができないか。そうしていただくと、私たちの考えをご理解いただきやすくなると思う。

区民 昔から地区対抗のような意識がある。

区民 私の知人の息子は、学校が小さすぎるといって富士宮市に転出した。

万沢の人とよく話をするが、この問題はお互いのエゴであり、子供のことを第一に考えれば答えは出るはずだ。

区民 まったく親のエゴだ。

教委 町は万沢に宅地分譲などで若者定住施策を展開しているのに、教育委員会は小学校を無くそうとしており、矛盾しているのではないかといったご意見をいただく。若い人が万沢に住むということは万沢の強みになる。その若い人たちの子供が通う学校が過小規模でないことが必要であり、教育環境を整えなければならない。そのためにスクールバスで10分のところにそれを満たす学校を用意する。だから矛盾は無いとお答えしている。

万沢から公共施設が無くなってしまうという切実な声を聞くが、万沢は若者の定住が約束されている。よそにはない。マンパワーでは大きな可能性を持つことになる。地域がどう取込んで地域づくりに取組むかは、住む方々の努力によると思うが、希望の持てる地区になる。

区民 統合の基本方針に賛成の立場から発言させていただく。文京区は文教施設が近くにあり、非常に恵まれた地区だ。徳間分校が統合された時は、子供心に変化だろうと思った。

万沢の皆さんにすれば、古くは富河村・万沢村合併時から公共施設が富河地区に移り、

南部町になってからも諸施設が統合され、そういった感覚が根底にあって、ある意味被害者意識もあると思う。その部分については町にしっかりと対応していただいて、万沢地区の方々に理解していただけるよう努めていただきたい。

我々のように恵まれた近場の人は、万沢地区へ思いを馳せ、心遣いし、町がまとまっていくことが大事だ。

区民 このように急激に子供の数が減っていることに驚きを禁じ得ない。このような状況に対し、峡南地域、山梨県、あるいはその他の地域でどのような取組みがなされているのか、情報を収集し我々にも伝えていただき、より良い方向に進めていただきたい。

教委 身延町は現在進行形で来年4月に3小学校になる。早川町は2小学校のまま維持されると思う。富士川町は既に1校閉校した。大月市は小学校の数をかなり減らした。北杜市は統合を推進していたが、現在は検討にストップがかかっている。

全県的に統合が進み小学校数が減っていて、取組みを進めている市町村が多い。

区民 他町で小学校が統合する際、まったく新しい校名になったことを知り驚いた。

教委 統合問題について地域内で合意形成に至らず揉めたケースがある。南部町では、強引に進めたくはない、地域の十分なご理解を得て進めるべきだということで昨年から2年かけて説明に回らせていただいている。

教委 長時間にわたり熱心に議論いただき感謝する。いただくご意見から温かなものを感じた。いただいたご意見を参考に次に進ませていただく。

天王区 6月3日（土） 第6日目 出席者22人

区民 中学校統合後、スクールバスによる通学について問題は出ていないか。

教委 各地区を回る中でいくつかご意見をいただいた。平日は、学校の細かな配慮のもと登校時2便・下校時2便運行している。休日の部活動送迎に関しては、統合時の合意で旧富河中学校発着としているため、保護者がそこまで送迎しなければならないので考えてほしいとのご意見が出ている。

区民 中学生なら徒歩・自転車である程度の距離は自分で移動できる。小学生については中学生と同じようにはならないと思うので、小学生に適した登下校の仕組みが整うのであれば、統合に賛成だ。小学生を持つ親戚が万沢に居り、人数の多い環境で学ばせたいので早期の統合を望むといった声を聞いた。スクールバス1台を運行するのにどの位費用がかかるのか、子供のことから経費的なことは考える必要はないのか、そのあたりは私たちが言えるところではないかもしれないが、いずれにせよ、統合して良かったと言われるような形に持って行ってもらいたい。

教委 貴重なご意見ありがたい。具申書の配慮すべき事項の初めに通学上の条件整備を謳っており、現状ではスクールバスでの送迎が考えられる。ただし、スクールバス通学によって歩かなくなり、体力の低下を招くと一般的に言われている。体力をつけながら安全に登下校できるような配慮が必要になる。

区民 統合には賛成だ。現在、陵草区から通う中学生はいるのか。

教委 中学生はいないが小学生が1名おり、小型のスクールバスで通学している。

区民 遠いので時間がかかるところが心配だ。

区民 スクールバス運行にかかる経費は莫大ではないか。

教委 概算だが、購入費を除き1年間の運行経費は1台で約600万円かかる。

区民 教育に直接関わらない人、高齢者などから、子供があまり乗っていないバスがたくさん通るのは無駄ではないかと言われたことがある。乗せ始めの地点で、1人か2人しか乗っていない様子を見ての言葉のようだったが。子供に手厚くして子供を増やそうということには大賛成だが、少数の保護者の意見でバスを1台増やすとかいったことは町としても難しいことだろう。

教委 卒業と入学で、バス通学の生徒は年ごとに替わるのでバスルートも毎年見直される。その際、安全確保と体力維持について配慮する。昨年の小学生保護者の懇談会でもバス通学による体力低下を懸念する声が出た。

バス運行経費については、地方交付税という制度により、国から厚い支援があることを申し添える。

区民 統合には賛成だ。人数が少ないと競争心がなくなる。私は、あの子には勝てないから挑戦しないとかいう言葉を聞く。人数が多くなれば挑む気持ちも出てくる。

学童保育が問題だと思う。今、万沢小学校の子供は万沢児童館を使っているから万沢児童館に迎えに行けばよいが、統合すれば富河児童館まで万沢の保護者が迎えに行くことになると思う。時間もかかり、働くお母さんにとって大きな負担になるのではないか。時間延長とか工夫してもらえば良いが、富士宮市の孫の場合、遅れると延長料金が請求される。教育ばかりでなく、子育て全体を見る必要があるのではないか。

南部町に転入する時、子供が1人増えれば2クラスになるタイミングだったらしく、学校から何度か電話をもらった経験がある。ただし、県から先生が来るのではなく町が先生を雇う形だったそうで、後にPTA会議の時にある人から、県からの先生が担任になれば良いが、町の先生では成績が落ちると言われたことがある。万沢小学校には町が雇った先生がいるそうだが大丈夫か。

教委 まず、町が雇った先生のことから答える。まったく差はない。力のある先生を採用している。

区民 ちゃんと免許を持って、更新もしているのか。

教委 国の制度で義務化されており、更新している。

区民 今の状況では、統合するしかない。

区民 万沢の皆さんは、この内容で納得しているのか。

区民 納得していないと思う。万沢小学校を使うことも考えたらどうか。

区民 万沢地区では若者定住のための住宅整備や宅地造成をしている。しかも万沢は山梨県の玄関口だと謳っている。一方で中学校、小学校を無くしている。万沢の方々は納得で

きるのか。住宅を増やす意味が無いではないか。町の施策のバランスが取れていない。

教委 万沢の人口が減って寂れてはいけないということで住宅政策を推し進めている。ただし、それによって子供の数がサイクルとして増えていくことは不可能だ。

区民 教育委員会がやろうとしていることと、町がやろうとしていることが全然違って見える時がある。

中部横断自動車道に関して、町は、この天王区に対して何もしなかった。だから住むところが無い、面倒だと町外に引っ越した住民がいる。この地区に役場職員が何人いるのか。何故それがわからないのか。このように教育委員会が教育に力を入れているが、町の方角性と全然違う。町も「この町に住んでもらおう」と教育委員会も交えて取組んでもらえないものか。宅地を探すのは難しいし、申請したって1年や2年では通らないし、面倒だから、補償費もらったから行っちゃうよという話を聞いた。まるで方向性が違う。

区民 何故人口が減るか。働くところが無いし、子供にここに残れと言えない。

区民 自分たちの老後を考えても、ここには住めない。高齢になって自動車運転ができなくなれば、この田舎では暮らせない。年をとったら街に出なければ暮らせない。

教委 そこをこれからどうしていくかが課題だ。

区民 町の進もうとしている方向を同じ向きに揃えて取組んでいただきたい。人口を少しでも増やそうとしている時、それぞれの課は何をしているのか。町の人が町外へ出て行くのに手を拱いている姿を我々は見ている。

住宅を安く提供して万沢の子供を増やし、小学校を何とかしようという方向性も考えたのではないのか。

教委 それで子供の数が維持できれば統合を考える必要がなくなるのだが、この規模の住宅政策による児童増は一過性であり、過小規模化が解消され続けるとは、残念ながら考えられない。矛盾を感じるかもしれないが、教育委員会としては子供の学習環境を整えるために統合することを考えている。

区民 万沢・富河小学校が統合しても1学年20人程度だ。ならば4小学校を1つにしてしまえば良いではないか。

区民 私は、統合について、学校が万沢でも富河でもかまわないと思っている。万沢の住民が1人でも増えてくれればと願っている。

教委 別の富河地区の方からもそういったご意見をいただいた。ありがたい。

区民 具申書の内容には賛成だ。ただ、万沢は山梨の玄関口との位置づけだが、中学校も小学校も保育所も無くなってしまった。若い人が移住して来なくならないか。万沢に住む若い人が学校が無くなった故郷を出て行ってしまうことはないのか。そういったことが怖い。

教委 財政豊かで塾など学校以外の教育が充実した自治体と南部町では競い合いにならない。そういった弱点があってもここに住み続けることを選択していただくための道のりは非常に厳しい。

区民 できる協力はしていきたい。ただ、万沢の急速な過疎化が心配だ。

教委 町の施策と教育委員会のやろうとしていることが食い違っているのではとのご指摘についてだが、私は同じ方向を向いていると考えている。町には総合計画があり、町長部局と連携してその計画に沿って教育委員会の考えをまとめている。つまり、万沢地区に若者定住を企図した住宅政策を進める一方で、小学校については、スクールバスで10分のところに過小規模化していない学校がありますという考え方だ。

学童保育についてのご意見だが、私たちに欠けている視点だった。大変貴重なご意見として、計画を詰めていくときに参考にさせていただく。

4小学校を1つにしたらどうかというご意見については、他会場でも出た。中学校については体力的なことや部活動の数を揃えることの必要性などを考慮して1つにした。教育委員会としては、通学とはただ単に子供を運ぶこととは考えていない。通学は子供にとって体力的負担が大きい。小さな負担で学校生活の効果が上がるよう検討した結果が2小学校配置だ。

区民 富士宮の小学生の孫は、かなりの距離を歩いて通っている。田舎の児童の方が優遇されているのか。昔は遠くても皆歩いた。一体何キロ歩けば負担になるのか。中学校のバス停もあり歩かなくて済む距離に設置されている。

教委 国が示す小学校の適正な通学距離は概ね4km以内、中学校は6km以内となっている。これには道路事情も考慮する必要がある。

区民 近すぎないか。今の子供が伸びない原因を町や国が作っているのではないか。

区民 私の子供は県内の高校に進学したが、静岡県の実業に就職を希望した際、職安に行けと言われた。ひどい高校だった。

教委 高校を訪れる機会にそういったことがあったことを伝える。

区民 身延高校の存続について、高校はどう思っているのか。

教委 南部町の子供は、静岡県にも目を向けているので危機感を持っているようだ。

区民 統合には賛成だ。球技のように集団で取組むものができないのではつまらない。

子供の出生を増やすために、給食くらい負担なしでしっかり食べさせたらどうか。子育てのための輝く政策があってもよいのではないか。娘が静岡で5歳の子を育てているが、子育て支援企業が子供を迎えに行きそのまま預かってくれるし、塾にも連れて行ってくれる。私は、ここで2人の娘を育てたが、歩くとか歩かないとかではなく、とにかく安全面だけ気を付けて育てた。田舎にも危険は潜んでいる。女性も働かねばならない時代で、夜勤や出張があるのはあたりまえだ。子育てのために希望の職種をあきらめるのは可哀想なので、女性が働きやすい条件整備をお願いしたい。

区民 高齢者支援と同じくらい子育て支援に力を入れてもらいたい。

区民 母親は、子供を無事に育てることで精一杯だ。

区民 通学路に危険な箇所があり、町に横断歩道設置をお願いしたが何もしてくれなかった。優先順位をつけて、ここは是非ともお願いしたいと説明したが、県に言うといった回

答だけで、実現させようという熱意が感じられなかった。子供の安全確保への配慮を町全体で取組む体制整備を望む。

教委 先程の輝く政策についてだが、南部町の政策をいくつか紹介する。医療費については、無料だ。給食費は、小中学校に3人以上通っていれば3人目以降は無料となる。

区民 2人では駄目か。女は子供を産む道具ではない。誰もが平等なはずだ。一人一人同じ権利があるはずだ。

区民 静岡県の清水町は人口が増えている。何故かと言うと若い世代や子どもへの支援が行き届いているからだ。南部町は余程のことをしないと増えない。

教委 町に入ってくるお金には限りがあるので、皆様のご意見すべてにお応えするには無理がある。どういった部分に配分するかが課題だ。南部町では、高齢祝い金を抑えさせていただいて、小学校に入学する児童への祝い金を3千円から2万円に増額した。

区民 南部中学校が先に統合した。そこで良かった点は小学校統合に取入れて、悪かった点は前例としての経験を生かしていただけたらどうか。

町がこういった形で進めますよと言ったら、我々はついて行かなくてはならない。教育委員会は、その方向性をしっかりと見極めて町民に示し、町民は協力し、良い形で統合できるようお願いする。

教委 学校のこと・子供のことを考えることは、地域づくりを考えることと一体だ。地域をどうしていくか考えることが子供の数を増やしていくことにつながる。地域の声が積み重なって政策として形成されるという姿が、これから求められると思う。貴重なご意見ありがたい。

区民 学校が無くなる地域の方が大変だと思う。万沢の保護者の皆さんの意見をよく聞いていただき、よく話し合っていていただいて、統合することとなるなら私たちも協力する。

教委 今日是非常に議論が盛り上がった。厳しいご意見もいただいたが、皆様の何とかしようという熱意が伝わった。いただいたご意見は、持ち帰って検討させていただく。

感謝する。

■ 6月24日（土） 第16日目 出席者22人

区民 富河・万沢小学校の統合は平成33年、睦合・栄小学校の統合は平成38年と5年の違いは何か。

学区のところで何故旧村にこだわるのか。十島の子が万沢に通い、井出の子が富河に通うことは問題ないのではないか。

教委 まず5年と10年、中期と長期に分けたわけを説明させていただく。万沢小学校は既に過小規模校になっているため、統合までの期間を中期と分類した。栄小学校は小規模化が進んでいるが、まだ過小規模校にはなっていない。今後も児童数が減っていくという予測の中で、10年後には統合しなければならない時期を迎えることになるかもしれないので長期と分類した。小さな学校でも頑張る姿は大事にしたいと考えており、頑張れる間

は頑張って、少人数のデメリットが顕在化するおそれが出そうになったら統合するという考えから中期、長期に分けた。

学区については、富河・万沢小学校統合時には従前どおりとする。なぜなら十島、井出の子は栄小学校に通っており、その時点で学区の見直しがあると大きな混乱を招く恐れがあるからだ。学区は古くからの歴史があるので時間をかけて取組む必要があると考える。

教委 学区の変更は、きっかけがないと難しい。通っている学校があるのに突然他校に通うことになったら抵抗が大きい。統合のタイミングに合わせて学区を見直すことになる。

区民 井出・十島の方々には、そういった心積もりがあるということか。

教委 その内容について、今はまったく白紙状態だ。いずれ検討する会議を立ち上げなければならぬと考えている。

区民 今日の懇談会は、統合に向けての話であり、そのことについて理解を求めることなのか。

教委 そうだ。

区民 その前に子供を増やす対策に力を入れるべきではないか。子供が減ったから統合というのでは子供が可哀想だ。子供を増やせと言っても難しいとは思いますが、町全体で取組まねばならないのではないか。今日は教育委員会が統合について話すにとどまる。

教委 人口増加策が自治体ごとに迷走しているところがある。移住者に対して金銭補助を出す自治体もある。全国で人口が減っているのに、他自治体から移住して来たらお金を出すということが果たして正しいことなのか、南部町ではやっていない。

区民 増えれば良いのではないか。

教委 町のお金は、町内に住む方々の住民福祉のために使うという大原則がある。移住者に対して50万円、100万円というお金を出すことに住民の方々が納得してくださるか疑問がある。

区民 一旦入っても出て行ってしまうことがある。

区民 町の予算が54億円と聞いた。高齢者関係の費用が11億円だとか。移住に回すお金があるのではないかと思う。

区民 人を増やすということは非常に難しい。南部町と身延町で空き家バンク対策で担当しているが、身延町の頑張りはずいぶん。身延町への移住実績が上がっている。身延町では、中古の住宅を買ったら20万円、賃貸については引っ越し費用として10万円助成している。南部町でも検討していただきたいとお願いしている。こういったことも必要ではないかと考える。

万沢の分譲については6区画が決まったと記憶しているが、小さなお子さんを伴っての移住も決まった。

教委 町民の方々の考えがそちらに向けば、助成も可能になっていくかもしれない。万沢の人口増については、ご尽力いただいた方が本日まで参加くださっている。

区民 統合後の校舎は富河小学校を使うことが望ましいとあり、万沢の方々は統合には賛成だが、この部分について納得がいかないという話を聞いた。万沢地区は宅地分譲が進み、子供の数が増える可能性もある。大きな学校に小さな学校が統合するというのが合理的であると思うが、富河の子供も減っているので必ずしも富河小学校に統合すれば良いという話でもないような気がする。静岡県に一番近いのは万沢地区だが、そこには保育所も小学校も中学校も無い。そのことを私は危惧する。そうやって何でもかんでも大きなところに集めれば良いという発想だと、今後、睦合・栄小学校統合でも同じことが起きるだろう。旧南部町では、施設の配置は旧村のバランスをとったと聞いたことがある。富河・万沢小学校の位置については、先に保育所が富河に統合されてしまったので小学校もかということになり、万沢の人たちの反発を招いているのではないか。小学校のことを学校の中だけで考えるからこういった問題を引き起こす。

教委 特に万沢地区の方々からそういったご意見いただく。地域が寂れていくことを危惧する声は理解できる。しかし、万沢地区は施設は無くなるが大きな強みがあると私は解釈している。それは、若者が定住する、増えるということだ。よそでそれが約束されているところはない。万沢地区の方々には、それを基に将来像を描いていただきたいと思っている。

町は万沢で若者定住策を展開しているのに、教育委員会は学校を無くそうとしており、双方のすることが矛盾しているというご指摘をよく受ける。私たちは矛盾しているとは考えていない。移住してくる若い人たちの子供にとって、過小規模校でない小学校をスクールバスで10分のところに用意することだからだ。万沢地区は、そういった意味では大きなポテンシャルを秘めていることになるかと捉えている。

教委 睦合地区、栄地区という区割りは人口減でこの先なくなってしまう、1つの地区になっていくのだろう、というご意見が他区で出た。富河、万沢という見方をすると先程からの問題になるが、富沢地区という視点で見ることでもあるし、必要になってくるのではないかと思う。

区民 万沢地区で熱心なのは、万沢小学校がある地区ではないか。

教委 万沢小学校の近くでない区からも学校を愛する気持ちの訴えがあった。

区民 万沢小学校は、小さいながらも見守り隊とか住民参加の運動会とか、地域に根差した学校として頑張っている。その万沢地区の方々には理解してもらえたのか。

教委 統合はやむを得ないが、万沢小学校が無くなるのは反対だというご意見が多い。

区民 後のケアが大事だと思う。

教委 万沢小学校は、非常にユニークな建物だし、避難所としての機能も期待されるから、活用のアイデアを地元から発信していただくようお願いした。

区民 旧富河中学校は今、どうなっているのか。

教委 そのまま残っている。

区民 活用されてはいないのか。

教委 福祉保健課の健康づくり事業などで使われている。

区民 富河、万沢でなく富沢という見方は大事だ。いつまでもこだわっていたら前進はない。

区民 中学校は南部に行ってしまったのだから・・・。

区民 富河小学校は、富沢全体から見ると中心ではない。距離からすれば万沢小学校の方が中心に近い。

区民 子供は現在、小学校2年生で、保育所年長組の時に保育所統合があり、同い年の人数が増えた。小学校入学時には別々になり中学校で再び会うことになる。大人は別の小学校に進むことが寂しいのではないかと心配したが、子供は柔軟で小学校生活を楽しんでいる。人数が多くなることは、望ましいことだと思う。

区民 保育所が統合したことを知らなかった。南部地区はどうなっているのか。

教委 部署が違うので聞いておらず、答えられない。

区民 以前、その話はあった。結果的には話がまとまらなかったようだ。

区民 栄、睦合の方がそういった話をまとめるのは難しいと思う。

区民 小学校が近くにあることで万沢の宅地分譲地を購入する人がいるのではないか。それが統合となると問題にならないか。ならば旧富河中学校のところに宅地分譲するという考えは無理かもしれないが、いかがか。学校の近くによそからの人を受け入れるのは良い考えだと思う。

教委 万沢地区に、過小規模校への入学を心配した親がいたことは事実だ。分譲地へ入居される方の考えは分からないが、様々だろう。把握はしていない。

区民 皆様方の貴重なご意見が生かされるよう期待する。教育委員会の方々には頑張っていたきたい。

教委 いただいたご意見を持ち帰り、検討させていただく。大勢の皆様のご参加感謝する。

徳間区 5月25日（木） 第3日目 出席者9人

区民 統合するにあたっては富河小学校を使うとあり、富河地区は賛成する人が多いだろう。一方、万沢地区は反対する人が多いのではと思うが。

今日参加できない人から、富河小学校で統合するなら賛成だと伝えるよう依頼された。

教委 万沢地区で昨年開催した懇談会では、具申内容に賛同いただく声もあったが、現状でも成果を上げているのに何故統合しなければならないのかというご意見も比較的多くあった。また、関心度が高く、参加者は他地域に比べ非常に多かった。我々は、多くの方が無関心のまま統合を進めることは望まない。今年は、よりきめ細かく地域を巡り説明させていただくことで皆様に関心を持っていただきたいと思っている。

区民 私たちの住む地域のことだから、母校のことだからと思って出席した。わざわざ教育長が来てくれるという機会を作ってくれた。

運動会を見ると、万沢の地域は熱い。地域ぐるみで運動会をやっている。富河地区は、運動会が終わる前にテントを片付け始める光景を目にしたことがある。そんな時、徳間は

まだ片付けないでいようって言ったことがある。そういった部分で違いを感じる。

一方、いろいろなことが富河地区にまとめられるようになっている気がする。

区民 婦人会が一緒になる時は、会議の持ち方の違いなど問題があった。

区民 富河小学校の隣には旧富河中学校もあり、広い敷地があるのだから4校一緒になればなどということも思う。

教委 小学校を1つにするというご意見については、スクールバス導入を前提に町全域からの通学となると、小学生の体力を考えた場合に大きな負担がかかってしまう。

区民 身延町はどうなのか。

教委 身延町は、かなり広範囲となっている。規模的には、南部町を1つにするような規模にはなっていない。

区民 両校を比較すると、万沢は道路が狭く駐車場も少ない。富河は比較的ゆとりがある。

また、建物の安全性も非常に重要だ。富河小学校は古く、万沢小学校は新しくてきれいだ。

教委 まず、具申書には富河小学校を使うことが望ましいと記してある。耐震性については、4校とも基準を満たしている。富河小学校は体育館の耐震補強をした。

区民 統合には賛成だ。だが、反対する意見もわからないではない。私の中には、どちらかを強力に支持するものがない。

早川町は子供が少ないが2校維持している。人伝に話を聞くと、それなりにうまく運営されているようだ。そういう話を聞くと統合しないという選択肢もあるのかなと思った。難しい問題だと思う。

区民 中学校が1つになったが、まだ問題として残っていることはないか。

区民 スクールバス増便を願う。指定時間に間に合わず、迎えに行くことがしょっちゅうある。片道2便では足りない。

教委 第1便で乗るか、第2便で乗るかは、人数も含め学校側が確認しており、下校時に再確認している。それで対応いただきたい。

区民 今年、学校に対して増便を求めた。また、夏休みの送迎に関しては、富河小学校発着となっている。自転車で行けばよいのだが、遠いので親が送迎する。平日に送迎できない時に困っている。

区民 朝は町営バスに乗って行き、帰りに困る場合がある。そういった時に、私は仕事を抜け出させてもらって迎えに行っている。夏休み・冬休みの登下校に配慮を求める。

区民 中学校統合時にスクールバスできめ細かく運行する約束だった。

教委 中学校統合前は、富河中学校まで自転車通学だった。統合する時に、休日は旧富河中学校をバスの発着点にすることに決めた。しかし、中部横断自動車道工事など当時と状況が変わっていることは理解している。難しい問題であり、今ここで返事はできないが、要望ということで中学校とも話をしてみる。

区民 小学校統合に際してもスクールバスのことは重要課題になると思うがいかがか。

教委 スクールバス利用による体力の低下や時間の制約、災害時の対応課題などといった

意見が出されている。

区民 現在、陵草地区には小中学校のスクールバスが運行しているか。

教委 中学校統合当時は中学生がいたのでバスを運行していたが、現在中学生はいないので運行していない。小学校は在籍児童がいるので運行している。

区民 来年小学校に入学する子がいる。大勢で切磋琢磨できる環境が望ましいので、統合には賛成だ。

教委 メリット・デメリットについては、それぞれに良さ・課題があるわけだが、私たちが想定しているのは、ある程度の児童数をそろえた教育環境だ。

区民 私は統合に賛成だ。経費の節減になると思うし、筍掘り体験や茶摘み体験など、富河小学校以外には無いと思われる貴重な体験を大勢でできることは良いことだと思う。

教委 町の経費としては、1つの学校管理にかかる経費が削減される反面、スクールバスや新たな経費により、トータルではあまり変わらない。経費削減を目的としてはいないが、皆様がそういったところまで考えてくださることは、ありがたい。

区民 学校別児童数の推移で5年先までの児童数が載っているが、富河小学校だけ減少幅が小さいのはなぜだと思うか。

教委 1つは、県営住宅に若い世代が入居していることが挙げられると思う。もう1つは、新たに小学生となる子供を持つ年代の人がいるということだろうか。

区民 南部地区にも県営住宅があるが、状況はどうなのか。

教委 大塩区にある。この区の人口減少率は、南部地区で唯一、一桁であることから、自然増の要素を見ることができる。

教委 今夜は2つの点で大きな収穫があった。1つは多くの女性のご参加をいただきご意見をいただいたこと。2つ目は保育所・小学校の保護者の方のご意見を直接いただいたことだ。また、具申書の内容以外のご意見・ご要望もいただけた。ご要望については、クリアすべき条件があるが、お気持ちは受け止めて帰りたいと思う。

貴重なご意見に感謝する。

【万沢地区】

富士見区 6月4日（日） 第7日目 参加者22人

区民 元気よくあいさつするんだよ、人の顔を見てあいさつするんだよなどと話をしながら毎日、小学生の見守りをしている。万沢の未来を担う子供たちなので私も頑張っている。子供たちの元気な声が聞こえなくなるのは、とても寂しい。しかし、この表を見ると考えてしまう場面もある。

万沢は公共施設が減っていき、悲しくなることもある。万沢保育所が富河保育所と一緒にになったのだから、小学校は万沢で良いではないかという考えもある。でも統合するであればやむを得ないかなとも思う。

私の孫は中学生になったが、これは地域のことから出席した。万沢に何か1つ拠点を、
とも思う。

教委 今日とは他区より多くの保護者の方々にご出席いただいている。ご意見をいただきたい。

区民 大学生と中学生の親だ。平成25年3月時点で統合はしないことになったと記憶している。

保育所が先に統合した。組織は年代が上がるにつれ大きくなっていくものだが、保育所で万沢・富河地区の子が一緒になり小学校で別々に別れる、そして中学校でまた一緒になるという矛盾した状態になっていると、小さい子を持つ親から聞いた。この流れは、統合ありきで進められているのではないかという気がする。

教委 そういった受け止め方をされるのは、町の説明不足があったかと思う。他の地区でも指摘された。まず町内には幼稚園もあるということをご確認いただきたい。保育所はサービスの質を維持するための統合であり、小学校は子供の学習する環境を適正にするためのものだということをご理解いただきたい。

教委 平成25年に統合しないという話があったという点について説明させていただく。

平成21年9月に中学校の配置計画が出た時、小学校については子供の減り方を見て平成25年に検討に入ることとされた。実際は平成25年に検討に入らなかったのだが、平成26年3月の議会で検討するのか質問があり、検討に入る旨を答弁した。そして平成26年7月に検討委員会が立ち上がった。

区民 当時、検討委員会のメンバーであり、小学校のPTA会長を務めていた。保育所が統合されるという噂が耳に入った時、残してほしいと教育委員会に伝えたが、担当課が違うのでわからないとのことだった。横の繋がりができていないと叱ったことがある。

小学校保護者は、小学校の統合には全員反対であり、書面で教育委員会に提出してある。新たにPTAに加わった人達の考えは分からない。

中学校が統合する際、説明会では検討中であり、まだ骨組みの状態だという説明だったが、一気に統合してしまった。

統合に関しては、子供たちの安全面について十分考えているのか、対策は取られているのか説明願う。

教委 昨年、各小学校の保護者を対象に懇談会を開催したが、やはり子供の安全についての指摘を多く受けた。大きな災害があった時、子供を引き取りに行けない、スクールバス通学による体力低下も心配だし交通事故等のリスクが高まるといった内容だった。グループワーク形式だったので、解決策としてのアイデアを保護者から出していただいた。きめ細かなスクールバス運行が必要だという意見が出た。

また、各小学校には食料などの災害備蓄があり、エリア防災会としての災害対策備蓄もある。このように、発災直後は学校にいた方が安心という環境を整備している。

スクールバスについては、統合についてご理解をいただいた後の検討作業となり、体

力の低下を心配するといった保護者の声も反映されなければならないと考えている。

他区の懇談会で、そういった細部の条件提示がなければ賛否決めかねるという指摘を受けたが、まずは小学校の現状から統合の必要性をご理解いただき、次の段階で諸条件について一緒に考えていただきたいと考えている。

教委 細かなことについては、統合についてご理解をいただいた上で詰めていただくことになると思う。その時に参考となるご意見として、皆様の様々なお考えを發表していただくとありがたい。私たちはストックとして蓄積し、整理して提示させていただく。

昨日、富河地区の懇談会で、児童館を利用する場合、万沢児童の保護者負担増が予想され、対応策を考えておく必要があるとのご指摘を受けた。今後の諸条件を考える時の大変参考になるご意見をいただいた。

区民 私は、万沢で義務教育を受けて育った。児童減少について国や県の考えではなく、南部町教育委員会独自の考えを持つことはできないか。富士宮市の大きな学校に通っていた孫が家に寄留して万沢小学校に通っている。大規模校のマイナス点をたくさん感じていたが、小規模校に転校して多くのプラス点を感じている。小規模校のデメリッが資料に記載されているが、小中学校の人間関係は、長い人生においてそれほど重要ではないと思う。だから記載されている問題は問題ではないような気がする。南部町として特長のあ、どこの市町村にもない、小規模校を大事にする町でしかも優秀な子が育っているという教育を進めてほしい。

富士宮市の稲子小学校は、非常に小規模な学校だが存続するそう。市の教育方針がすごいのか、地元住民の団結がすごいのか。万沢から中学校も保育園も小学校も無くなるというのは、住民たちは火が消えたような感じがする。

孫から学校の様子を聞くのはうれしいことだ。南部町は小規模校の特徴を生かして特長ある教育を進め、それをPRすれば移り住む人があるのではないか。

区民 “拍手”

教委 確かに万沢小学校は、小規模の良さを生かして特色ある教育をされており、子供たちも頑張っている。私たちも素晴らしいことだと思っている。

規模の面で南部町らしさを出せといことには少々問題がある。国が示す16人以下になったら「複式学級」については、1学年にすれば半分の8人ということになり、人間が成長していく中で、関係を築いたり関係を築く上での課題を解決するための必要最低限の人数であり、文部科学省が発達心理学や児童心理学等をベースにして出した人数だと思う。であるならば、全国で守っていかなければならない人数ということになる。

特色ある教育ということについて紹介させていただく。南部町は、教育と文化を非常に大切にしており、町広報の5月号でその一端を紹介しているのでご覧いただきたい。

小規模でも統合しない学校があることについて、富士宮市の教育長に話を聞いてみたところ、教育委員会独自の考えではなく市の方針だということだった。市の定住促進策とタイアップして、稲子地区に都市からの移住者を受け入れながら小学校を維持していく

施策のようだ。南部町は、万沢地区にグリーンハイツを建てたり宅地分譲して定住化を図っている一方で小学校を無くしてしまうことは、矛盾しているのではないかと指摘を他の区で受けた。若者が万沢地区に定住することは大事なことであり、学校はバスで10分のところに過小規模化していない学校を用意して、定住促進策を補強するのだと考えていただきたいとお答えした。

区民 万沢小学校には、町独自で教員を配置していただき感謝する。

市川三郷町の市川東小学校は、昨年、全校児童7人だった。しかし、町長は閉校しないと宣言し、学校と地域が存続に取り組んでいる。早川町も20人以下だが存続しており、どんな取り組みをしているか調べてみた。私は、教員時代に千人規模の学校をはじめ規模の大きな学校に勤務した経験がある。最後は万沢小学校で児童数は27人だった。結論から言うと、どこも変わりはない。小規模校であれば、小規模のデメリットを克服する工夫ができれば問題は解決できる。人数が少なければ複数学年で動く。それでも足りなければ全校で動く機会を増やす。そこでコミュニケーション能力を高めると、通常の学校より能力が高まる。実際、万沢小学校卒業生が中学校の授業参観で活発に意見発表する姿に保護者が驚いた。万沢小学校の集会の様子を町長・教育長に見てもらったこともある。話が終わった後、皆で相談して自分の考えを述べ合う、そういう機会は研究して作らないとできない。学校が大きくなればなるほど、それはできなくなる。小規模校であるが故の利点だ。その力が中学校で発揮される。

小規模校の児童は、学力が高くなる。少人数であるため基礎・基本がしっかり身につく。有名大学への進学例もある。少人数を心配する方がいらっしゃるかもしれないが、たった3人のクラス出身の子が中学校で生徒会長になったこともある。勉強も運動も工夫次第でできる部分も十分ある。

大規模・中規模・小規模の勤務経験を通して、小規模校でも学力面・コミュニケーション能力・運動面に関して心配することはないとPTA総会で話した。

学校小規模化により生じる問題について、一番大事なことは子供のことであるが、稲子小学校にしても市川東小学校にしても早川町にしても継続している。万沢小学校は、それらの小学校より人数が多く、事務局の説明によると、この先も急激に減ることはない。加えて、今後確実な転入予定があり、地域が児童を増やすために努力している部分もある。

地域の人は、保育所が無くなってしまったことに非常にがっかりした。将来伸びて行くところを切られてしまった。保育所で富河・万沢の子供が一緒になり、小学校は別々というちぐはぐな現象が生じ、行政に対する不信感が芽生えた。

私たちや万沢小学校PTAは、旧万沢中学校の校庭にアパート建設を求めたが、分譲することになった。幸い5区画で購入が見込まれるようで、子供が増える可能性がある。しかし、ここで小学校が無くなってしまうのは、地域にとどめを刺されることになる。保育所が無くなり、スーパーのハック・ドラッグも無くなってしまう。生きていくことはできるかもしれないが、精神的な拠りどころが無くなってしまう。

北海道某市のように財政が破綻してしまうなら別だが、何とか小学校を存続してほしい。

P T Aで話し合った時に、心配することとして取上げられたのは、学校が遠くなるため災害時の対応が困難になることだった。

教委 財政状況が厳しいので統合するということではない。2校が統合しても、かかる経費に大きな差は出ないだろうと予測している。実際、3中学校が1校に統合された時も経費削減にはならなかった。

万沢小学校は、小規模校のデメリットを克服するための努力が実り、素晴らしい成果を上げている。一方で、仮にデメリットの部分が表出してしまった場合、その子にとっては一生を左右する問題になる恐れがある。

教委 万沢小学校の取組みは素晴らしく、何回か見せていただいた。ただ、濃密な人間関係において、一旦歯車が狂ってしまった時のリスクを考えた。このリスクを減らすにはある程度子供の数を増やすことが求められ、そういった学習環境を整えるために統合が必要だと考える。

区民 言われることはよくわかる。P T Aから、男女比のバランス、競い合い、学び合いといった部分で不安な部分があるといった意見が出された。しかし、全校での取組みなどにより人前できちんと意見を言うことができるようになるといった小規模校の良さが見られ、不安やデメリットをしのぐ意見が多く出された。

区民 自分の経験から、良くなかった点がある。正規の先生と町単の先生で差がありすぎた。連絡帳を書くよう要望したのに一度も応えてくれなかったし、子供への対応で納得いかないことがいくつもあった。今はそういったことが無いから不満が出ないのだろうが、そんな時期もあったことを報告する。

区民 教員なので、立場もあり意見を述べるのは控えさせていただくが、学校の在る無しについては、地域のことを考える上で大事なことだと思い、小学校保護者以外の若い人にも参加を呼び掛けた。声を聞いていただきたい。

区民 富河保育所園児の保護者だ。保育所で仲良くなった子供たちが小学校で別々になるのは可哀想だと思う。6年後に中学校で一緒になった時、仲良くできるのかわからず、親としては不安だ。

教育委員会の立場では、現状では統合を避けられないのかなと思った。

南部町は小さな町で、今後の人口推移を見て10年後、20年後にどれだけ人口が残っているのか考えると、雇用も増えないだろうし減る一方だろうと思う。統合したところで、また同じような話が出てくるのではないかな。町として、住民を増やすことに力を入れるべきだ。

グリーンハイツの住人は、ほとんどがこちらで仕事をしていて、住むところが無いから富士・富士宮市に出ていた人で、元々南部町の町民だ。外から入ってきた人はほとんどいないと思う。分譲地もそうなると思う。グリーンハイツの窓から分譲地を見渡すと、正直

なところ住みたいとは思わない。応募があった区画は、私が見て住むならあそこだと思ったところだけだった。この先、区画が埋まるのか心配する。

私は、万沢地内の実家に隣接する畑に家を建てるつもりだが、申請をしてから農地転用に2～3年かかるだろう。若い人がこのあたりに土地を求めて家を建てようと考えた場合、そんなに時間がかかるのでは転入は難しいのではないか。そういったところを改善していくべきだ。富士宮市のように、人口を増やそうという策をもっと考えるべきだと思う。今やっている事業は後手に回っているのではないかと感じる。

このような場に教育委員会だけでなく、町長・議員・行政の他の部署員などが来て地域の声を聴くべきだと思う。この先ここにずっと住む者としては、小学校の統合よりもそちらをまずは頑張っていただきたい。万沢地区の人が頑張って何人か移住してきた。町はどうか。もっとできるはずだ。もっと長い目で、この地域を守るよう動いていただきたい。教委 鋭いご指摘をいただいた。真摯に受け止め、持ち帰って関係者に伝え、検討させていただく。

農地転用については、町に決定権が無いため時間がかかることをお許しいただきたい。また、農道や水路整備に国の支援を受けると猶更困難だと聞いている。

移住については、おっしゃるとおり万沢の方々の方が実績を上げている。

区民 早川町は、東京にある「ふるさと回帰支援センター」を使って移住政策を進め、転入児童によって学校が維持できている。そこを利用する手立てはないか。

教委 ふるさと回帰支援センターのコーディネーターに相談した際、一番の問題は就労先だと言われた。センターではハローワークが相談に加わる体制になっているが、南部町の場合、就労希望先は静岡県が多くなり、そこまでフォローできるか疑問符が付く。しかも、人口減少は静岡県でも深刻化しており、最近静岡県と静岡市がブースを出し競争相手となってしまった。財政的に恵まれているため、移住者に対する金銭的な支援も厚いと聞いた。南部町は、財源を普通地方交付税に大きく頼っている。入ってくるお金は、本来今ここに住む方々の住民福祉に充てられるべきで、その他に回す余裕はあまりない。企業誘致もだが、静岡県とのアクセスが向上すれば、就労先は静岡県・住居は南部町という選択をしてくれる人がいるかもしれない。先程のご意見にもあったが、町外に出て行く人をいかに引き留めるかということも重要だ。

移住については、受け入れる側の準備が必要だ。地域への新規加入に金銭負担を求める地区もあると聞く。一朝一夕には行かないが、移住を阻む要素を無くしていく努力が受け入れ側に求められる。

区民 前進できるよう祈る。

区民 統合と直接関係ないが、中学生の服装で反射板のようなものが無く、ヒヤッとすることがあった。鞆か制服に着けていただくと冬とか夜に注意喚起できるのでお願いします。

教委 ご指摘ありがたい。検討する。

教委 統合問題だけにとどまらず、町の将来を見通した貴重なご意見もいただいた。持ち帰

って担当部署に伝え、無にしないよう考えさせていただく。

区民 小学校統合の問題について、皆さん真剣に、いろいろなことを踏まえ、ご発言いただいた。致し方ないと思う人がいる一方、何とか子供を増やし存続させようと取組む人もいて、ここで結論を出すわけにはいかないところもある。いずれにしろ、最も重要なことは、子供のために良い環境づくりだと思う。子供の将来を考えて良い方向に持って行っていただきたい。

様々な希望があるだろうが、子供を主体に考えていただいて結論に至った場合には、是非御協力いただきたい。

区民 “拍手”

元宿区 6月9日（金） 第10日目 参加者11人

区民 検討委員会での話し合いは、統合ありきで進められたのではない。現状のままでいかに良くしていくかといった視点が無かったのではないかと感じる。疑問に思う。

教委 最初から統合ありきではなかった。方向性を見出す基となったのは、アンケート結果だったと思う。何か根拠を基に、これからの方策を考えるべきという流れがあった。統合を推し進めるべきと持論を持つ人は何人かいたが、その人たちが主導する形ではなかった。

区民 残すことを主張する人はいなかったのか。

教委 いた。また、当時の万沢小学校PTAの皆様も統合に反対するというので、請願書をいただいた。教育委員会でその取扱いについて協議し、検討委員会に説明した。

区民 この答申が破棄されて、統合しないという決定がなされる可能性はあるのか。例えば、もう一度アンケートをとり、万沢地区の人が全員反対といった結果が出た場合、白紙に戻すということはないのか。あくまでも統合ありきか。

教委 私たちは、この具申内容を地域の皆様、町民の皆様にご理解いただきたいということで各区を回らせていただいている。ただ、具申書には「理解を得た上で」とあり、理解を得られないままごり押しというわけにはいかない。

区民 統合した場合、スクールバスによる通学との説明だったが、万沢地区は全方向ゲートで囲まれているので、大雨などの時は当然通れない。そんな時、急に休みにになったり繰り上げ下校になっても、核家族では急に仕事を休むわけにはいかない。そういった場合の対応は、どう考えているのか。学校で預かると言われても、それはそれで心配だ。

教委 確かにご指摘のとおりだ。まだ、細かな部分は詰めていない。

区民 子供が帰宅できない場合に、学校で預かりますと言っても、親もゲートが閉じていれば迎えに行けない。ゲートがあくまで、いつまでも預かるわけにはいかないだろう。

県外から引っ越してきたので、通行止めになって帰宅できないというのは、私にとってありえないことだった。まず、こういうことから解決しないと移住だとか人口増だとか言ってはいただけないと思う。

また、田舎だからこうしておいた方が良いとか、こうすべきといったようなことは、正直若い人には面倒だ。地域のしがらみは若い人には敬遠されるだろう。人数が少ないから強要されてしまう部分があるのかもしれない。最近の若い人は、自分の生活の中に他者が入り込むのを嫌う。何でもかんでも地域で皆協力というのは、若い人を呼び込むのには不利だと思う。

教委 貴重なご意見をいただいた。南部町の弱点は、アクセスが悪いところだ。最近、ようやく境川の法面工事が始まった。長く国土交通省に働きかけ、ようやく地権者の同意が得られて手を付けることができるようになった。山間地の悪条件を解消しないと人口減少に歯止めはかからないと考えている。ただし、こういったことには相手があり、なかなか捗らないことがもどかしい。

先程の迎えに行けない問題についてだが、これから様々なケースを想定して、どんな解決方法があるか考えていく。率直なご意見をいただくことは、とても参考になる。

区民 学校統合については、長い時間をかけてきた。当初は「適正規模」ということだった。今回は「適正配置」で、この考え方は良いと思う。富士宮市は狭いエリアにいくつも学校がある。

全国のいろんなところを見ると、岩手県の大滝村、島根県の東出雲町など若い人が働ける場所をつくっている。それで人口が増えている。

今の私の生活は、孫のためにあるようなものだ。孫の送迎の合間に百姓その他をやっている。子供たちの存在は、地域再生の基となる。そういったものを奪わない方向で、皆で機運を高めてほしい。

そもそも適正な規模などというものは無いのではないか。多ければ多いなりの、少なければ少ないなりの教育方針があり、それぞれのメリット・デメリットがある。田舎の良さを生かす教育をしてほしい。

教委 万沢小学校は、確かに数字から言うと過小規模校だが、子供たちは頑張っている。先日の支会の陸上競技会では、男子リレーで優勝した。勉強も非常に頑張っている。これは、小規模で先生たちと密度の濃い教育が受けられる環境がそこにあるからだと思う。そういう意味で、良い回り方だと良い結果を残すが、一旦関係がこじれてしまうと、少数の中で解決の余地が無くなってしまう。このリスクを私たちは心配する。

説明にあった複式学級の人数16人の根拠は、国が研究して子供たちの心理や発達状況を考えた時に、その人数を下回ると人間関係が危うくなるリスクがあると分析した結果だと思う。この基準を参考に、子供たちがより良い人間関係を保って、健全に過ごせる環境を整えることが教育委員会の責任だと思っている。ご理解いただきたい。

区民 同一学年で考えると、そうなるかもしれないが、異年齢集団で取組めば子供は子供なりの考え方があると思うし、尊重してやるべきだと思う。

教委 万沢小学校は、縦の繋がりを上手に取込んでいる。

区民 子供たちの関係が崩れた時に修復がしにくいということだが、私からするとそれは

逆だ。大きな学校で育ってきたが、ある子がクラスで浮いた存在になると集団の心理が働き、一人一人の罪の意識が薄くなり、いじめがエスカレートする結果になる。今、万沢小学校で私の子供は学年に関係なく遊ぶ。富士宮市ではありえなかった。同学年でしか遊ばなかったのだから上下の学年の子供には興味を持たなかった。だから今の万沢の環境はすごく良い。人数が少ないからこそ、違和感があつたりいざこざがあると、子供たちだけでなく、親や先生がすぐ気付く。人数が多かったら気付かない。子供は、大人が思っているより狡賢いところがあるし、嘘をつくこともうまい。それは人数が多ければ多いほど見抜けない。私は子供のころから、それをずっと見てきた。いじめが表に出ないだけで、ちゃんとある。人数が多ければ多いほど、もっと狡猾になる。そういう意味では、かえって小さいほうが良いと思う。

小学校が今の富河小学校になったら、万沢地区に若い人は引っ越してこない。何故かと言うと、子供の通学が面倒くさいから。親からしてみれば、子供が歩いて行けない距離に学校がある、それだけで嫌だ。子供が自分の力でどうにもできないところに行かなければならないというのは、親からすれば、そんなところに好き好んで越してこない。一組の夫婦が大勢の子供を産むわけではないから、子供を増やすには多くの若者の移住定住が必要だが、もし統合したら、多分ここは高齢者だけが住むところになる。小学校が無いのにここに住めと息子に言えない。自動車でしか行き来できない、学校の友達とも遊べない、そんな状況のところで万沢は良いところだなどとは言えない。

息子が3年生になるころまで富士宮市に住んでいた。学童保育には、いじめられるから行きたくないと言っていた。人数が多すぎて大人の目が行き届かず、陰でこそこそ金をせびろうとする上級生がいたりするらしい。子供は悪いことと分かっているけどやる。人数が増えるだけ、罪の意識が薄くなり、皆がやっていることだからと、たちが悪くなる。今、子供は万沢で伸び伸びと生活している。

教委 貴重なご意見だ。私たちは、ある程度の人数を揃える中で教育したい。過小規模の状況は何とか解消したい。人数が増えていくことの問題をご指摘いただいたが、富河・万沢を合わせた人数は、私たちが目指す人数に近いものだ。

区民 話の内容は分かるが、それは大人が狙っている人数であつて子供が狙っている数字ではない。子供は学校が終えたら近所の子と遊びたいわけで、富河では自分で通えないから無理だ。

大人数でないと学べないことがあると言うが、中学生になれば皆一緒に集まるわけだから、それからでも遅くはないと思う。

区民 単に対症療法なら教育委員会の考えで良いのだが、成長途上の子供だからバスに押し込めるのではなく、自然と共に学ばせたい。

教委 数の問題に加えて、担任の先生がお互いに切磋琢磨できるよう指導していただくことも想定している。

登下校についてのことも、いただいたご意見を参考に考えていく。地域の宝である子供

たちが、地域の人たちと何らかの形で触れ合ったり関わったりすることは大事だ。それなくして送迎がなされてしまうと、本来学ばなければならないことを学ばないままに卒業してしまうことになり、それは避けなければならない。

区民 地域の方々が登下校に寄り添っている。以前は保護者の姿があったが近頃は見ない。

区民 若い世代が多くなったことと、労働状況が厳しさを増しているためだ。共働きが当たり前になり、見守り隊活動はできない。子供たちには、何でもできるように強くなってもらわないと、生活がかかっている。万沢は隣近所が近く、気にかけてくれるので、子供たちが自分で考えて行動できる環境だ。

区民 私たちは、ずっとここに住んでいるので小規模校の良さに気付かなかった。町内の小学校は人数が少なくなり、それを補うために共同授業や共同事業をしているとのこと、南部町の教育として大きな町にできない教育方針で良いことだと思う。

万沢地区にはグリーンハイツを建てたり宅地分譲したりしているが、人口を増やすためだと思う。それによって子供の数も増えると思うので、将来を見越して結論を急がず、長いスパンで見えていただきたい。

教委 他区でも町のしていることと教育委員会がしようとしていることは矛盾しているのではないかとのご指摘を受けた。教育委員会は、矛盾しているとは思えない。若者が定住する万沢は、これからの強みであり、教育環境としては過小規模とまらない小学校がスクールバスで10分のところにある、そういった環境を整備するという考え方だ。

区民 自動車で子供を送っていくという考えが間違っている。子供は歩いて学校に行くものだ。

区民 若い夫婦がここに越してくるとして、何を基準に考えるかと言うと生活の利便性だ。そんな時、スクールバスで10分だとか過小規模でないとかいったことは問題にならない。しっかりとした教育が受けられれば良いのであって、規模のことは気にしない。人数よりもスクールバスの方が嫌だ。バスやダンプカーが多く、事故が多い国道52号線を走ることは親として心配でならない。

区民 幼い子供がいる。出身地は学校から遠かったので小学生時はバスで通い、中学生時は自転車で通った。当時は普通のことだったが、今考えると辛いことだった。疲れてしまって勉強は二の次だった。だから自分の子供には歩いて通わせたい。規模が小さいことが気になっていたが、ここでの意見を聞いたら、中学生になってからでもいいかなと思えてきた。

区民 前の学校では、勉強は不得意だったが、万沢は人数が少なく目立つので頑張る。それが個々の学力向上につながり、平均が上がる。大きな学校では、それが無い。

区民 小さな学校では先生が目がよく行き届く。子供は大人の視野からはずれて何かしようとする。人数が多くなると見逃してしまうおそれがある。できれば少人数が良い。

区民 爺さん婆さんは子供や孫と暮らしたい。小学校が無くなってしまうと家族が崩壊してしまう。子供たちが出てしまうなどということになれば、今までのことは何だったのか

ということになる。

区民 万沢から南部中学校に通っている子は頭が良い。レベルが違うという声を聞いた。

教委 それはあると思う。よく学習し、定着している。

区民 少人数だからこそできている部分があると思う。少人数だからできないところは大人が補うことだってできる。学校の規模にこだわっているようだが、子供の目線で見えないような気がする。わざわざ富河に行きたいと思う子供は、あまりいないのではないかな。どうせ中学校で一緒になるわけだし。学力やコミュニケーション能力のことが心配とあるが、それは見当違いに気を使いすぎているのではないかな。

教委 小規模の良さは十分わかるが、リスクもある。

区民 統合すれば、別のリスクも生ずる。

教委 それは確かにある。

区民 そのリスクは、大人の目に見えないレベルのところで発生するリスクだから、その方がたちが悪い。

区民 稲子小学校では去年6年生がいなかったが、児童会長の集まりで5年生の児童会長が立派に発言したと聞いた。全校6人の学校だが、地域の人や消防団員らを交えて賑やかに運動会を開催したことも聞いた。

教委 今の万沢小学校はとても順調に運営されているが、小規模校のデメリットとして、固定的な人間関係により一度関係が悪くなると改善が難しい状況が出てくるとあり、子供の一生を左右する状況になってしまうこともある。これを心配する。

区民 小さな学校なので諍いがあっても隠せないのですぐ修復できる。人数が多いと他の友達に逃げるから修復されずに終わりになる。それを大人が見て修復したと誤認する。人数が増えれば増えるほど、この傾向は増える。人数が少なければ否応なしに話し、協力しなければならないので、自然に仲直りできる。人生を左右するような問題は、大きな学校の方が深刻で不登校児童はごく普通に居る。その理由を先生たちは知らず子供たちにはわかっている、そんなケースばかりだ。

区民 以前のアンケートでは、万沢を含めて統合賛成は50%を超えている。適正規模については、1クラス20人前後で2クラス編成を望む保護者が60%を占めている。平成33年度の推計を見ると、4小学校全体を合計すると、丁度その規模になる。1小学校に統合すれば保護者の希望に沿う形になるが、そういう意見は出なかったのか。

教委 出た。

区民 それに対して教育委員会で検討することはなかったのか。

教委 人数としてはそうなるが、エリアを見ると旧南部町と旧富沢町という広さになる。それも考慮して2小学校という結論だ。また、小学生、特に低学年の子供にとって、学区が広域になることによる通学の負担にも配慮が必要だと考えた。

区民 距離的なことは分かるが、地域的なことで万沢の人が富河と一緒にすることに賛成するか、少し心配なところがある。むしろ4つを一度に統合した方が良いのではないかと

思う。

区民 富河と万沢は気質が違う。

区民 それを心配する親がいるのではないかと思う。

教委 それぞれの良さがある。

先生たちが一生懸命になる、子供たちがそれに応える、そういう関係を作って行けば、どこでも素晴らしい教育は可能だと思う。

区民 どこでも素晴らしい教育ができるなら、統合しなくてもできるということになる。子供たちは一言も合併したいと言わない。アンケートの内容についても、教育環境として2クラス編成できれば良いと思うからそこに○をつける。その思いは、万沢が2クラス編成できる学校になればであって、統合とは無関係な回答だってある。富河に行きたいとは答えていない。そこが大事だ。

当事者である子供たちの考えを、条件を説明した上で聞くべきだ。

区民 子供たちには万沢の歴史文化を学び、引き継いでもらいたい。

教委 教育委員会でも「ふるさと教育」について各学校での取組みを強化している。ふるさとを支える人材づくりは、教育委員会の大きな目標だ。

あと一つ、コミュニティ・スクールについて紹介させていただく。南部中学校では、学校に地域の人が深く関わるシステムを作りつつあり、地域の人が南部中学校に様々な面で関わっていきこうとしている。成果が上があれば、各小学校に導入していきたいと考えている。そうなれば万沢小学校が無くなっても、地域と学校の繋がりを強めることができる。

教委 熱心な討議ありがたい。深い議論をしていただき、大変参考になるご意見をいただいた。持ち帰り検討させていただく。

新宿区 6月23日（金） 第15日目 参加者18人

教委 今日の参加者は男女同数だ。

区民 昨年の懇談会の結果を見ると、万沢地区の参加が多い。万沢からは中学校が無くなり、保育所も無くなった。唯一小学校があるが、これも無くなってしまうのかと危惧している。だから高い参加率になるのだと思う。そのことを教育委員会としてご配慮いただきたい。

教委 昨年回ってみて、たくさんの方にご参加いただき、関心の高さを感じた。様々な角度から検討されたご意見をいただいた。そういう意味で、万沢の皆様のご意見をよく聞いてということは心している。そんな思いで来た。

区民 中学校の閉校式が終了した時、ある方が「この中学校を造る時に土地を提供したり、当時の役員の方がどれだけの思いで努力されたかについて何の言葉もなかったなあ」と漏らした。町も配慮が足りなかったと思った。

教委 確かに学校の建っているところは一等地であり、多分当時の方々は子供のためならと思ってくださったろう。そういう声をいただくことがありがたい。

区民 子供は財産だと思う。生活の中に子供の声や音があった。子供がいるということは、

お年寄りも元気になるし、子供たちも支えられる。

環境の良い万沢に病院や企業を持ってきて一流の町づくりをしてほしい。娘が帰ってくるときは、いつも国道52号線から見下ろせるところに車を止めて、良いところだねと言う。育った環境が良かったと心から思っている。皆もそう思うのだったら、町も万沢を豊かな、子供たちが住みたいと思えるような、出て行ってもまた戻ってきて働ける場所があれば働きたいというところにしていくべきだ。富士市や富士宮市が近いから出て行くのではなく、逆に誘致して万沢の住みよさをアピールするといった考えを持たなくては、町は発展していかない。

教委 何故できないかではなく、どうすればできるかという思考でなければ、成るものも成らない。考え方ひとつで結果が変わる。貴重なご意見感謝する。

区民 減ってしまったから合せて多くしようということが、そもそも間違いだと思う。根本的に増やそうと考えるべき。

小学校が統合した場合、今の敷地と建物はどうなるのか。避難所として非常に重要だ。

教委 栄小学校が立地する内船中区でも「学校は子供のためだけでなく、地域住民としても災害対策拠点として重要な役割を果たす。」というご意見をいただいた。大変申し訳ないが、教育委員会としてはお答えできない。大事なご意見として町に伝える。

教委 万沢小学校は、従来の小学校構造ではない。様々な可能性を秘めている。行政が決めるよりも地域の皆さんからアイディアを出していただくことが重要になってくる。これからの地域コミュニティの在り方についても皆さんに考えていただく時代が来ていると思う。

統合については、子供の数が減ってしまったための苦渋の決断であり、ご理解いただきたい。

教委 私たちは、万沢小学校が非常に頑張っていると認識している。つい先日の陸上記録会でも、人数が少ないにもかかわらず男子リレーで優勝した。感動した。それが一つの象徴であるように、授業も子供たちの活動も充実している。だが、ある程度の人数がいないと、一旦関係が崩れてしまった時のリスクが大きくなる。私たちはそこを心配する。人数が減れば減るほどリスクは高まるので、今のうちに切磋琢磨したり様々な考えに触れることができる環境を整えることが教育委員会の役目だと考える。これが懇談会の根底にある考えだにご理解いただきたい。

区民 地域に学校があることが重要なのだ。子供が少なくなったからまとめてしまうというのは一番簡単な方法だ。少なくなったなら、それをどう克服していくかということ、もう少し考えていただきたい。資料を見ると、既に筋書きができていて、ここで一体何を言えばよいのかわからない。

教委 検討委員会による慎重審議を経て答申をいただいた。この具申書は、その答申に沿った内容となっている。今回、各区を回らせていただいているのは、具申内容にご理解をいただくためのものだ。他区からも「違う意見が多く出るようなら内容を変更することがあ

るのか。」といったご質問をいただいたが、あくまでもこの具申内容で進めていくことにご理解いただきたいとお答えした。

区民 万沢小学校と富河小学校を併せて富河小学校ということは、どういうことか。

教委 そのことについては、何も決まっていない。使う学校は、今の富河小学校という意味だ。次のステップに進む際、皆様のご意見をいただいて協議を進めることになる。

区民 それはどうしてだ。

教委 具体的経緯は承知していないが、統合すればスクールバス運行が必要になり、駐車場、進入路、転回場所等といった条件について万沢小学校は難しく、富河小学校は敷地が広いので整備が容易だ。児童数が多いということもある。

区民 スクールバスが停まる場所は学校のそばでなくてもよいのではないか。旧万沢中学校の体育館のところが使える。そこから歩けばよい。

区民 万沢小学校を使ってもよいと思う。

区民 学習環境が良くなるかもしれない。

区民 デザインも斬新だ。

教委 開放的で良い環境だと思う。

区民 それがどうして富河小学校になるのか。

区民 はじめから決まっているようなものだ。

区民 万沢地区から公的施設が次々と無くなってしまった。人情的に万沢小学校を使うということはないのか。先程から万沢は良いと仰っていただいているが、小学校までなくなってしまったら万沢の人たちはどうすればよいのかということになってしまう気がする。せめて小学校は万沢にしていっていただきたい。富河からスクールバスで万沢に通うことは無理ではないと思う。

区民 万沢に通ってみたいと思う子もいるだろう。

教委 万沢小学校を大事に思う皆さんのお気持ちよくわかる。しかし、教育委員会は答申を尊重しなければならない。答申の中には富河小学校を使うことが盛り込まれていた。スクールバスの安全運行も検討内容となった。

地域から学校が無くなるということは、地域の皆さんにとってポツカリ大きな穴が開いたような辛い思いをさせることになるが、教育委員会はある試みを始めた。南部中学校のコミュニティ・スクールという制度だ。地域と学校を太いパイプで結んで、学校運営に地域の方々が参加しながら関わっていき、生徒も地域に出て行くというもので、これから万沢地区にも子供たちが関わり参加していくことがあると思う。今後は、小学校にも同様の制度を導入していき、学校が無くなった地域の方々も学校と深く結び付く制度を構築していく構想がある。南部中の取組みは動き出したばかりで具体的な例示ができないが、統合は、そういった事業を想定しながら進めている。

区民 それなら万沢小学校でも可能だ。富河地区の人たちともつながりが持てる。

区民 昔は子供が多くて陵草に小学校があった。人数は少なかったが、当時に友人に聞くと

それなりに楽しかったとのことだ。時代が違ふかもしれないが、子供が少ないと全然だめだという感じになってしまっている。それがおかしいと思う。子供が少ないからすべてだめだということはない。

教委 今の万沢小学校は子供が少ないけれど素晴らしい成果を上げている。ただ、児童同士の評価が固定されやすく、学習意欲や競争心に問題が生じやすい、固定的な人間関係により、一度関係が悪くなると改善が難しいデメリットがあり、子供たちの一生を左右する問題をはらんでいる。そこを最も重視している。

区民 それだけが子供の人生を左右するとは思わない。先生の質を高めて、もっと楽しく豊かになるかもしれない。

教委 実際に残念な例がある。今うまくいっているからこのまま継続して、もし恐れていたことが起きてしまったら、大きな悔いが残る。

区民 同学年に4人しかいない子の親だ。大きくなって同級会をするときに4人しかいないというのは、寂しいだろうと思う。親としては、統合は仕方ないと思う。ただ、地域としては、万沢小学校が無くなってしまうことは困る。小学校ぐらひは万沢に残してほしい。

区民 中学校、小学校、保育所を各地区に分散させればバランスがとれる。

区民 万沢は山梨県の入り口だから。関所もあるし。

区民 早川町の例もある。

教委 40年前の早川町は、6中学校6小学校だったが、今は1中学校2小学校で、中学校の生徒総数は30人程度だ。移住による児童生徒が占める割合が多い。子供の数が少ないからできるのかもしれないが、義務教育にかかる経費をすべて町が負担している。

区民 南部町でも人数が少ないのだからやればよい。

区民 町が単独で教師を雇うのとスクールバスを運行するのとでは、どちらが経費がかかるのか、中学校統合時の町長に聞いたところ、スクールバスの方がかかるとの回答だった。できれば残したかったのだが人数が減ってしまったので仕方がないとのことだった。小学校が統合となったらバスはどうなるのか。中学校と時間が重なるのでバスを増やさなければならぬと思う。

教委 きめ細かな通学支援が必要になると思う。中学校統合の際、その前後の経費比較をしたところ、大きな差がなかった。スクールバス関連経費が大きかった。

学校の保護者負担をなくすことについては、それができれば大きなアピール材料になる。しかし、南部町は財源の半分以上を普通地方交付税に頼っており、余分な財源は無い。そのため、どこかに財源を厚く配分すると、どこかを圧縮しなければならない。皆さんがこういうところを我慢するから子供たちのために使ってくれと求めてくださればできるかもしれない。

区民 1週間ごとに校舎を行き来するというアイディアはいかがか。

区民 2つの校舎の運営はできないと思う。

教委 万沢小学校の校舎の使い方については、万沢の皆さんがアイディアを出してほしい。

区民 学校として使えばよい。それ以外ない。

区民 (方々で同調する声)

区民 ここに学校を残すのならば、ここにいる人たちは一生懸命協力する。

区民 中学校跡地のグリーンハイツや宅地分譲地に若い人が住めば、子供の数が増えて小学校の児童数も増えるのではないか。

教委 そこが矛盾するのではないかというご指摘は、他地区からもいただいた。残念ながら今の若者定住政策規模では、過小規模校解消は無理だ。ある程度以上の児童数がサイクルとして確保されることはない。万沢地区は、静岡県に近く住みやすい。この好条件を生かして若者の定住を促進し、地域コミュニティを維持し活性化していこうとしている。一方、教育面では過小規模でない学校を用意して保護者の心配をなくそうとしている。

区民 小学校が近くにあるからこそ移住するということだってある。だまされたと思われ
ないか。(同調する声が次々とあがる)

区民 先日、峡南地区のPTA会議に出席した。市川東小学校は13人、増穂南小学校は27人で早川は先程話題になった。教育委員会は、そういったところとのつながりがあるのか、どうやって維持しているのか。学校は地域にあった方がありがたい。中学校が統合してバスが出ているが、別に送迎をしなければならない時がある。保育所もいつの間にか統合してしまった。

教委 まず何故数にこだわるかということを説明させていただきたい。国や県が複式学級の基準となる人数を1学年あたり6～8人としているのには、根拠があると思う。この人数を下回ると集団としての課題が生じることを教育学や心理学、児童心理学から導いているのではないか。私たちはその数字に従って、子供たちのリスクを少しでも減らそうと考えている。万沢小学校については、5年もするとこのリスクが高まるのではないかと心配している。

万沢小学校より小さな学校がいくつかあることは承知している。各町の教育長とのつながり、教育委員会のつながりはあるが、このことについて方針、考えについて交流をしたことはない。南部町は南部町独自の考えがあって、数にこだわって取組んでいる。

区民 統合は賛成だ。万沢小学校を校舎として使うことを訴えている。(同調多数)

教委 皆さんの素晴らしい学校愛を感じる。こちらの考えにもご理解いただきたい。

区民 何故、富河小学校になったのかがわからない。向こうが強いから負けちゃったという
感じか。

教委 それはない。

区民 あれだけ環境が良いと言っているのだから、万沢で良いではないか。

区民 富士山が見える学校は万沢だけだ。

区民 万沢の人は皆反対するだろう。

区民 統合は賛成だ。環境が良いなら万沢を使うべきだ。

区民 適正規模検討委員会のメンバーに地域の偏りはなかったか。

教委 万沢に不利になるような人選ではない。

区民 富河小学校を使うことに同調する人が多くてそうなってしまったのであれば、悲しいことだ。

区民 答申は絶対か。

教委 時間をかけて審議していただいた結果として重く受け止めている。

区民 具申の説明であり、報告ではない。

区民 具申の内容を変更する方法はないのか。

区民 学校を万沢にすればよいだけのことだ。町にこの意見を持って行ってほしい。

区民 万沢は年寄りだけになる。悪循環だ。

区民 以前、万沢小学校は将来老人ホームにするために、あのような間取りにしたと聞いたことがある。

区民 ヒノキを使った良い建物だ。

教委 いただいたご意見は教育委員に報告し、町長にも報告する。

区民 良い環境で学ばせることに重点を置いてほしい。

教委 富河も良い。

区民 そういうことは、富河で決まっているということか。

教委 そういった答申が出ており、ご理解いただくために区を回らせていただいている。

区民 それでは報告会だ。

区民 全部なくなってしまうたら住む気がなくなる。

区民 これでは南部町の人口はますます減ってしまう。

区民 昼間、万沢の通りを歩いても誰もいない。人がいるのは偶数月の15日だけだ。

区民 朝、家の前を6人の子供が通る。おはようと元気よく挨拶してくれるので、こちらも元気に答える。

区民 皆、鬱になってしまう。

区民 毎度、万沢小学校を残してほしいという意見を出している。

区民 せめて校舎は万沢にということを署名して町長に出せば。

教委 万沢は強みを持っている。分譲地や住宅には間違いなく若い人が入ってくる。よそにそういった場所はない。施設が無くなることは寂しいけれど、確実に若い人が増える未来がある。

区民 でも教育の原点が無かったら意味が無い。

教委 そこで過小規模でない学校を整備するのが、具申の内容だ。

区民 徒歩5分とバス10分は大きな違いだ。

区民 ある家庭では、長男夫婦が戻ってくることになったが、中学校が無くなると聞いてやめてしまったと聞いた。そういう例もあるので学校は大事だ。各地区にバランスよく配置することはできないのか。同じ南部町で不平等だ。

区民 教育委員会の話からは、学校を富河にするという姿勢しか見えない。

区民 答申がそうになっているから仕方ない。

区民 署名活動しかない。

教委 ここで議論を終えてしまうのは申し訳ない。決まったことを押し付けに来たわけではないということをご理解いただきたい。生の声を聞かせていただいたことは本当にありがたい。いただいた熱い思いは受け止めた。長時間わたりご意見をいただき感謝する。

【陵草区】 6月18日（日） 第14日目 参加者15人

区民 万沢・富河小学校は、平成33年度に統合されるということだが、統合前に入学する子を富河小学校に入学させることは可能か。小学校の途中で統合となると、新たに人間関係を作り直さなければならず、ストレスがかかるのではと心配する。

教委 このことについて、これまで何件か問い合わせがあった。教育委員会としては、お住いの学区の学校に通っていただきたい。それを認めると雪崩を打ったように他学区へ流れてしまうおそれがある。よそでそれを認めたために児童が流出してしまい、学校が消滅してしまった事例がある。

統合は、万沢の良さを持った子供たちと富河の良さを持った子供たちが一緒になって新しい学校の伝統を作っていってもらいたい、両校の良さを融合した形でスタートさせたい。

区民 転校した子が人間関係を築けなくて不登校になってしまうといったことを聞いたことがあるが、統合については、そういった配慮があるのか。

教委 町内4小学校では、学校の壁を低くする取り組みをしている。修学旅行やスキー教室を合同で行っているほか、3年生以上の学年では合同授業も行っている。よって3学年以上の子供は顔見知りになる。

南部中学校の例だが、統合によるストレスはあるので校内にカウンセリングができる教員を配置している。小学校の統合についても、子供たちの心のケアが必要だと考えている。

区民 平成33年に万沢・富河小学校が統合し、その5年後に睦合・栄小学校が統合すると書いてある。今、4校の同学年児童の合計は50人程度であり、将来的には40人程度まで減少する推計となっている。適正規模と適正配置、より良い教育環境整備と保護者の気持ちを考えたら、4校を1つにしたら良いのではないかと思う。

区民 関連で。4校を2校にしても小規模校のままであり、1校にすれば適正規模になる。スクールバスについては運行することが前提になっているのだから、新たに問題は生じないだろう。校舎が問題になるだろうが、富河小学校隣には旧富河中学校校舎があるので両方を使う手がある。全国に例の無い恵まれた環境になると思う。グラウンドも体育館も2つある。

私は、一気に1校にしたらどうかと考える。

教委 確かに2クラスで組替えができる人数と考えると、4校を1つにすればそれが可能

になる。そうした場合の課題として、通学距離が伸びることがあげられる。中学校は既に1つになりスクールバス通学だが、思ったより体力的負担が大きい。小学生の低学年児童のことを考えると、この負担は望ましくない。最適な状態で学校生活を送らせるためには、通学負担をかけすぎないように配慮する必要がある。2町が合併し、エリア的に広いので2小学校の配置が適当だと考えている。

区民 陵草区の子供は、富河小にしろ万沢小にしろ10km以上ある。南部中学校にいたっては、富士宮駅に行くのと同じだ。

区民 かなり前になるが、万沢小学校と富河小学校の統合について話し合われたことがある。その時は地域性に違いがあるとのことで合意に至らなかった。

今回は人数のことがあり、仕方ないと思う。

教委 以前そういう話があったということか。

区民 町合併以前だった。その時、万沢は反対だった。

区民 反対する人の多くは、学校が見える地区に住む人だった。地域が寂れるという理由だ。

区民 陵草小学校は、分校でなく本校だったが、昭和40年代に廃校になった。

教委 陵草小学校が無くなって、この地域は変わったか。

区民 変わった。住民が顔を合わせる機会が減った。そういう意味では寂れる。

区民 陵草小学校の統合が近づいた時に、地域のエゴを出さず、現状を受け入れ、大きい気持ちで、前向きに町のことを考えた対応をした。当時と今の万沢小学校近隣区の温度差を感じる。正直言って陵草区の住民は、小学校統合を経験済みなので、4校同時にして1つにした方が良いと考えているのではないだろうか。

区民 万沢小と富河小が統合しても小規模校のままだ。それなら1校にしたほうが良い。私から見れば、2校が統合してもあまり変わらない。

区民 将来推計は、掲げた目標を達成できた場合の数字か。達成は難しいのではないか。

教委 ハードルは高い。

区民 達成できて1学年40人だ。

区民 教育委員会では4校を1校にするということは全然考えなかったのか。

教委 他の区からも同じご意見をいただいた。教育委員会としては、2小学校という構想を具申した。検討委員会の答申が2小学校であり、教育委員会としては、この答申を尊重する立場だ。

区民 栄地区の懇談会の開催状況を教えてくれ。

教委 内船上区、内船中区、十島区の3区だ。

区民 栄・睦合小学校の統合について、それらの区の空気はどうだったか。

教委 どちらの小学校を使うかは白紙だと説明したが、栄小学校がある内船中区は睦合小学校になると予想して反対意見が多く出た。このことに神経質になっていると感じた。

区民 今の万沢小学校周辺の空気と一緒だ。

区民 栄小学校では、今後10年で複式学級にならずに行けるのか。

教委 複式学級対象となる可能性はある。

区民 人数の多い学校で学ばせたいと思うのが親心だ。そのために町外に出てしまう事例があり、この現象がさらに広がっていくのではないかと思う。富士宮市の私立中学校は中高一貫教育を始めており、今後、南部中学校ではなくそちらを選択する子供が増えていくのではないか。町全体の将来を考えた場合、勇気が要ることかもしれないが1校とした方が良いのではないかと思う。具申書には2校と書かれているが、実際に教育委員会では第2案といった形で1校ということが出てこなかったのか。財政的にも子供たちに有効な使い方ができるのではないか。町長曰く「一流の田舎町」実現のために、よそでできないような教育を考えられないだろうか。万沢小学校の入学生が4人、5人といった状況で子供がかわいそうだと個人的には思う。保護者は納得しているのだろうか。小規模校の良さがあるというが、少人数のデメリットが心配だ。町全体で不登校児童は何人いるのか。

教委 小学生はゼロだ。

過去の話だが、中学校で不登校生徒が増えたことがある。遡ると、小規模校での人間関係に起因するものようだった。そういった事態を招かない環境を整えたいと願っている。

区民 過去、児童間ではなく児童と教師の間の問題で不登校になってしまったことがあったと聞いた。先生自体もあまりにも子供が少ないと学級経営が難しいのだろうと想像する。そういった問題もあるのかと思った。

教委 一般論として、学校にいる間、常に付きっきりの状態になってしまうことでストレスがたまってしまう。ある程度ふさわしい数というものはある。

区民 先生も思うようにならないとストレスがたまり、疲れてしまうこともあるのではないか。そういったことを考えると統合は急いだほうが良いと思うのだが、示されたタイムスケジュールは変わらないのか。懇談会後に再考することはないのか。

教委 目途ということで、それを延ばすことは考えていない。縮めることは、状況に大きな変化があった時等が考えられるが、地域の皆さんのご意見も参考にさせていただくこともある。

区民 具申に異議なし。

区民 万沢・富河小学校統合の時に井出・十島の通学区を変更することはできないか。

教委 具申書では、睦合・栄小学校が統合する時に町全体の通学区の見直しをすることとしている。栄小学校が存続している時に通学区の変更をすることは問題が生じるからだ。

区民 統合はしようがないと思う。賛成だ。

ただ、自然災害などの時に両親が外で働いていると、私たち祖父・祖母が迎えに行くことになる。そこが心配だ。

区民 例えば学童保育を充実して親が迎えに来るまで責任をもって預かるといったようなシステムを確立してほしい。様々なケースを想定し検討してほしい。

区民 大規模災害の場合は、対応を決めてあるのではないか。

教委 自然災害の時の対応については、他区からもご指摘を受けた。次のステップに進む時は、当然検討して保護者にお示しし、ご理解いただく。

区民 保護者の立場にない私としては、ここで意見を慎む。

区民 子供が小学校１年生になった。保育所時代は万沢保育所が時間外保育をしていなかったもので、勤め関係もあり富河保育所に通わせていた。後、保育所統合があつて富河・万沢が一緒になった。大人は、同じ保育所に通っていた子供たちが小学校入学で別々になって可哀想だと言っていたが、そんな様子はなかった。買い物などで富河小学校に通学する保育所時代の友達に会うと「〇〇君元気？」とカラッとした様子で、大人だけが心配し、騒いでいるだけのようだ。万沢小学校には男子２人・女子２人が入学した。親の心配をよそに、我が家の男の子は幼稚園出身の男子と自然になじみ、上級生にもよく遊んでもらっているようだ。

共同で授業をするという説明を聞いたが、体を動かすようなことも入れて年に２～３回開催してもらえば、私は親として心配しない。

教委 万沢小学校は、とても頑張っている。先日の陸上競技会でも人数が少ないのに男子リレーで優勝した。

私たちが心配するのは、数の問題で人間関係がこじれてしまった時の修復が困難になることで、今の万沢小学校はその心配がない。

子供の環境適応能力はすごいと思う。ご意見感謝する。

教委 他区では「矛盾している」、「子供が可哀想だ」というご意見が多く、このようなご意見は初めていただいた。

区民 統合した場合の学校名の原案はあるのか。

教委 ない。

区民 公募するのか。

教委 それも含めて検討する。

区民 デメリットのことを考えると、今の万沢小学校の子供たちは、そのデメリットの被害者だと言えるのかもしれない。ならば統合は早くしてほしい。

区民 答申に従っての２小学校ということで、教育委員会として１校ということの検討はされなかったと捉えられるが、再検討はあまりにも問題が大きくなってしまうのか。

教委 申し訳ないが、基本は１中学校・２小学校だ。

区民 〇〇官房長官の答弁のようだ。

区民 身延町は中高一貫に取り組むようだが、南部町が巻き込まれることはないのか。

教委 南部中学校も入っている。

区民 それで身延高校に強制進学ということはないのか。

教委 南部町は、静岡県側の高校に進学する生徒が多い。町教育委員会は、そのことを主張するし、県教育委員会も承知している。これから県教育委員会と詰めていく。８月２９日に説明会があるので、積極的にご参加ご発言いただきたい。

区民 お疲れのところ大勢ご出席いただき感謝する。陵草区は自分たちの代に陵草小学校の統合を経験しているので前向きに考えていただいたと思う。そんな中で区民が考える方向性がまとまっていったような気がする。町の将来、地域の将来を考える上で非常に重要な問題で重要な時期が来ている。時間的には早いほうが良いのではないかと思う。前向きに積極的に進めていただきたい。皆さんも心配なこと気になることがあったら、私に言っていただければ、町との間の仲立ちをする。アンテナを高く前向きに考えていただきたい。

教委 陵草区の皆さんは、小学校の統合を体験されているということを、ご発言の内容から重く感じた。それだけに真剣に考えていただいていること感謝する。いただいた貴重なご意見はストックをつくり分析して次のステップに進みたい。遅くまで熱心な議論感謝する。